目次へ 戻る 次へ 検索する

SPEEDIA V1500

ユーザーズマニュアル
（応 用 編）

プリンタを設置・操作する前によくお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

CASIO®

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、SPEEDIA V1500シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、SPEEDIA V1500シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用いただけるよう、印刷してご使用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

本書の適用機種： SPEEDIA V1500

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠警告　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事があります。

⚠注意　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与える事があります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。
左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠警告

<電源に関する警告>

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口(インレット)に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になる事があります。

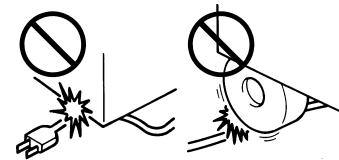
アース線を第3種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の恐れがあります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れて危険です。)
- 水道管(配管の途中がプラスチック等になっている事が多いため、アースの役割を果たしません。)

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し(容量不足の延長コード)は使用しないでください。また、パソコン等の補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

⚠警告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

プリンタの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する警告>

製品の上に水の入った容器(コップ・花瓶・植木鉢など)や金属物(クリップ・ホチキスの針等)を置かないでください。こぼれたり、製品の中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。万一製品の中に異物が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠警告

万一製品から煙が出ている、変な臭いや異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。お客様による修理や注油は危険ですので絶対にしないでください。

製品を分解・改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。製品の調整・点検の際は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠注意

<電源に関する注意>

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になる事があります。

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

⚠注意

本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になる事があります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

<設置場所に関する注意>

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になる事があります。
プリンタ本体は床から35cm以上離して設置してください。

安全のため次の温度や湿度を満足する場所に設置してください。
　周囲温度：10～32℃
　周囲湿度：20～80%RH（相対湿度）

- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器又は静電気防止マットなどを使用してください。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強燃性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

⚠注意

狭い部屋で長時間使用するときは、換気にご注意ください。プリンタの排気が直接人に当たらないように設置してください。気分が悪くなることがあります。また、カーテンや衣類等に長期間排気が当たらないようにしてください。汚れ(シミ)が付くことがあります。

製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

<製品の取り扱いに関する注意>

シェルは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたシェルに手を触れると、シェルが閉じて手などをはさまれ、けがをする事があります。シェルを閉めるときは必ず周囲の人の手や物をはさまないよう十分ご注意ください。

用紙排出口付近の定着ユニットは高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

詰まった用紙を取り除いたり、消耗品を交換するときなどはプリンタの突起部に触れてけがをしないようにご注意ください。

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着ユニットの内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品内部の電極や金属部品に手を触れないでください。感電の恐れがあります。製品のお手入れは、必ず電源スイッチを切ってから行なってください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

トナーやドラムに毒性はありませんが、トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。

消耗品の交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いて行なってください。万一トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに、掃除機で吸い取ってください。

⚠注意

<持ち運び・廃棄に関する注意>

製品を持ち運ぶ際は必ず2人以上で運んでください。図のように製品の取っ手をしっかりと持って、静かに持ち上げます。腰を傷めたり、製品を落としてけがをしないように十分ご注意ください。製品重量は、約25kgあります。

オプションの拡張ペーパフィーダや両面印刷装置をご使用のときは、本体から取り外して別々に運んでください。

使用済みの消耗品は焼却しないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生などで思わぬ事故の原因になります。カシオは地球環境保護のために、使用済みのドラムセットとトナーセットを無償で回収しています。詳しくは別売のドラムセットまたはトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず廃棄する場合は、一般の不燃物(廃プラスチック・金属)扱いで廃棄してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従って廃棄してください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- SPEEDIA V1500 → V1500
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows2000の総称→Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

SPEEDIAはカシオ計算機株式会社の商標です。
CASIO®はカシオ計算機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
TrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScriptおよびReaderは、米国及びその他の国々で登録されたAdobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。
Scalable FontはAgfa Monotype Corporationからライセンスされています。
CG OmegaはAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG TimesはThe Monotype CorporationのライセンスをうけたTimes New Romanを基にしたAgfa Monotype Corporationの製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG、Candid、TaffyはAgfa Monotype Corporationの各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
AgfaからライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

Windows x64対応について

本プリンタはWindows XP x64 Edition / Server 2003 x64 Edition環境でもご使用頂けるようになりましたが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

1. セットアップブログラムでのプリンタドライバのセットアップはできません。
2. 各種ユーティリティは使用できません。
3. TCP/IPを利用したネットワーク印刷は、「Standard TCP/IP Port」を使用してください。

詳しいセットアップ方法は、CD-ROM内に収録のREADME.TXTをご覧ください。

使用許諾契約

プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラム(ただし、Adobe Readerは除くものとする)およびドキュメンテーションはカシオ計算機株式会社(以下、カシオ計算機という)が提供するものです。プログラムおよびドキュメンテーション(以下、総称して本ソフトウェアという)をお使いになる前に、以下の項目をお読み下さい。

プログラムをインストールした時点で、お客様は、カシオ計算機との間で本契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応するカシオ計算機プリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権はカシオ計算機またはカシオ計算機のライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードはカシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
   (5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 譲渡
   お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   (1) 本ソフトウェアに対応するカシオ計算機プリンタと一緒に譲渡する。
   (2) 本ソフトウェアのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   (3) 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。

4. 期間
   (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、カシオ計算機は、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

5. 保証
   (1) カシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
      ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
      ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
      ・第三者の権利を侵害していないこと。
      ・特定の目的に適合していること。
   (2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 責任の限定
カシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、カシオ計算機がたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。
また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、カシオ計算機及びカシオ計算機のライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

7. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについてカシオ計算機とお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様とカシオ計算機との間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerはカシオ計算機がアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

目　次

1 Windows ソフトウェア

Windowsスクリーンフォント

WindowsMe/98

プリンタドライバをインストールするだけで、プリンタに搭載されている和文フォント名と欧文フォント名(136書体中42書体)がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windowsスクリーンフォントは添付されませんが、画面上ではWindowsのシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文フォント42書体	
AvantGarde	Lubalin Graph
AvantGarde,BOLD	Lubalin Graph,BOLD
AvantGarde,BOLDITALIC	Lubalin Graph,BOLDITALIC
AvantGarde,ITALIC	Lubalin Graph,ITALIC
Bookman	NewCenturySchlbk
Bookman,BOLD	NewCenturySchlbk,BOLD
Bookman,BOLDITALIC	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Bookman,ITALIC	NewCenturySchlbk,ITALIC
Courier	Palatino
Courier,BOLD	Palatino,BOLD
Courier,BOLDITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Courier,ITALIC	Palatino,ITALIC
Helvetica	Times
Helvetica Condensed	Times,BOLD
Helvetica Condensed,BOLD	Times,BOLDITALIC
Helvetica Condensed,BOLDITALIC	Times,ITALIC
Helvetica Condensed,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
Helvetica,BOLD	ZapfDingbats
Helvetica,BOLDITALIC	
Helvetica,ITALIC	
Helvetica-Narrow	
Helvetica-Narrow,BOLD	
Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	
Helvetica-Narrow,ITALIC	

WindowsXP/2000/Server2003

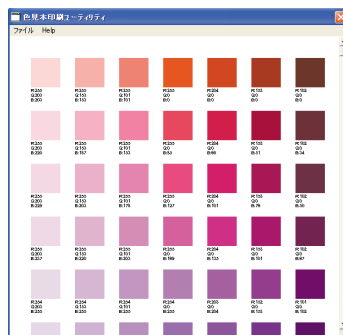
プリンタドライバをインストールするだけでプリンタに搭載されている書体のうち和文フォント名と欧文フォント名(136書体中115書体)がアプリケーションのフォントリストに表示されます。Windowsスクリーンフォントは添付されませんが、画面上ではWindowsのシステムがデザインの近いフォントを選んで表示します。

欧文フォント115書体		
AAlbertus MT	GillSans Condensed,BOLD	NewCenturySchlbk
Albertus MT Lt	GillSans ExtraBold	NewCenturySchlbk,BOLD
Albertus MT,ITALIC	GillSans Light	NewCenturySchlbk,BOLDITALIC
Antique Olive Compact	GillSans Light,ITALIC	NewCenturySchlbk,ITALIC
Antique Olive Roman	GillSans,BOLD	Optima
Antique Olive Roman,BOLD	GillSans,BOLDITALIC	Optima,BOLD
Antique Olive Roman,ITALIC	GillSans,ITALIC	Optima,BOLDITALIC
AvantGarde	Goudy	Optima,ITALIC
AvantGarde,BOLD	Goudy ExtraBold	Oxford,ITALIC
AvantGarde,BOLDITALIC	Goudy,BOLD	Palatino
AvantGarde,ITALIC	Goudy,BOLDITALIC	Palatino,BOLD
Bodoni	Goudy,ITALIC	Palatino,BOLDITALIC
Bodoni Poster	Helvetica	Palatino,ITALIC
Bodoni PosterCompressed	Helvetica Condensed	StempelGaramond Roman
Bodoni,BOLD	Helvetica Condensed,BOLD	StempelGaramond Roman,BOLD
Bodoni,BOLDITALIC	Helvetica Condensed,BOLDITALIC	StempelGaramond Roman,BOLDITALC
Bodoni,ITALIC	Helvetica Condensed,ITALIC	StempelGaramond Roman,ITALIC
Bookman	Helvetica,BOLD	Symbol
Bookman,BOLD	Helvetica,BOLDITALIC	Times
Bookman,BOLDITALIC	Helvetica,ITALIC	Times,BOLD
Bookman,ITALIC	Helvetica-Narrow	Times,BOLDITALIC
Clarendon	Helvetica-Narrow,BOLD	Times,ITALIC
Clarendon Light	Helvetica-Narrow,BOLDITALIC	Univers 45 Light
Clarendon,BOLD	Helvetica-Narrow,ITALIC	Univers 45 Light,BOLD
Cooper Black	Joanna MT	Univers 45 Light,BOLDITALIC
Cooper Black,ITALIC	Joanna MT,BOLD	Univers 45 Light,ITALIC
Copperplate32bc	Joanna MT,BOLDITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLD
Copperplate33bc	Joanna MT,ITALIC	Univers 47 CondensedLight,BOLDITALIC
Coronet,ITALIC	Letter Gothic	Univers 55
Courier	Letter Gothic,BOLD	Univers 55,ITALIC
Courier,BOLD	Letter Gothic,BOLDITALIC	Univers 57 Condensed
Courier,BOLDITALIC	Letter Gothic,ITALIC	Univers 57 Condensed,ITALIC
Courier,ITALIC	Lubalin Graph	Univers Extended
Eurostile	Lubalin Graph,BOLD	Univers Extended,BOLD
Eurostile Bold	Lubalin Graph,BOLDITALIC	Univers Extended,BOLDITALIC
Eurostile ExtendedTwo	Lubalin Graph,ITALIC	Univers Extended,ITALIC
Eurostile ExtendedTwo,BOLD	Marigold,ITALIC	ZapfChancery,ITALIC
GillSans	Mona Lisa Recut	ZapfDingbats
GillSans Condensed		

カラーユーティリティ

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタでRGB色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのようなRGB色の指定をするか確認することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/2000/Server2003日本語版の動作するコンピュータ

WindowsXP/2000/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

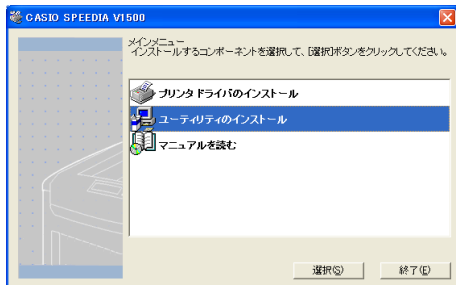
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/2000/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ インストールするユーティリティを選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「CASIO SPEEDIA V1500」画面で[終了]をクリックします。

起動します

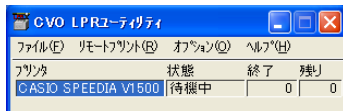
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラムを表示])-[CASIO SPEEDIA V1500]-起動したいユーティリティを選択します。

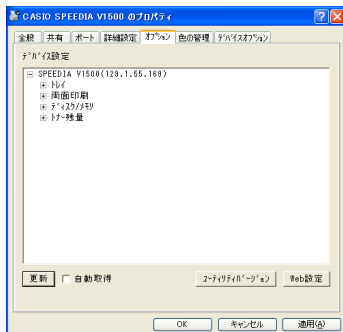
詳しくは
- 「色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい」(98ページ)
- 「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい」(82ページ)
- 「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい」(87ページ)

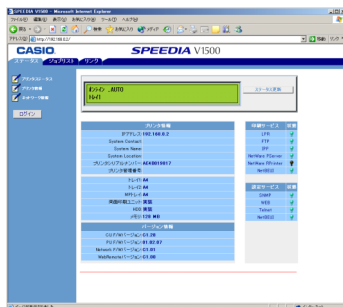
をご覧ください。

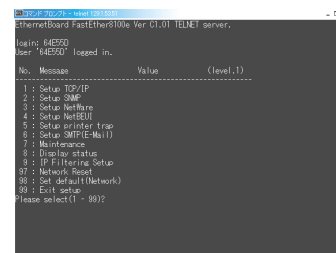
ネットワークユーティリティ

ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

CVO LPRユーティリティ（18ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

CVO Network Extension（25ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

Webブラウザ（28ページ）

Web画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

TELNET（36ページ）

TELNETを利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 ユーティリティ名	IPアドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	オプション品の管理	消耗品情報
CVO LPRユーティリティ		○	○		
CVO Network Extension				○	
Webブラウザ	○	○			○
TELNET	○				

CVO LPRユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/2000/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

・TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にCVO LPRユーティリティがインストールされます。
・WindowsXP/2000/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/2000/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

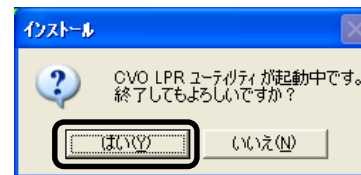
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

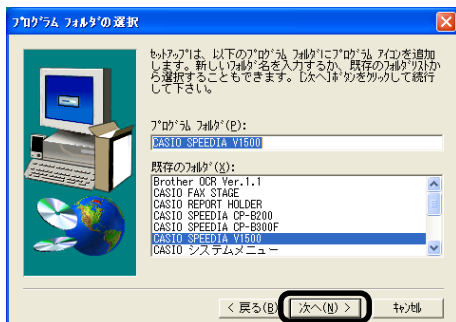
❻ [ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [CVO LPRユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ すでにCVO LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので[はい]をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

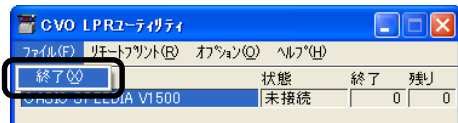
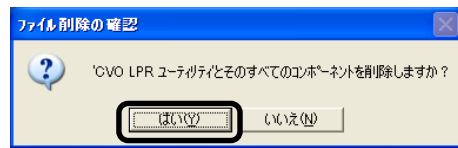
❿ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ [スタートアップに登録する]にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。

⓬ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

削除します

❶ [ファイル]メニューの[終了]を選択します。

❷ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[CVO LPRユーティリティ]-[CVO LPRユーティリティの削除]を選択します。

❸ [はい]をクリックします。

削除が開始されます。

起動します

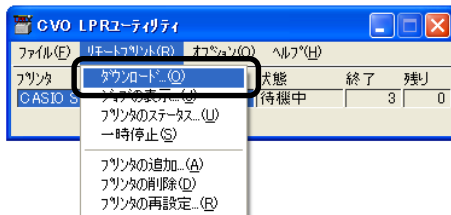
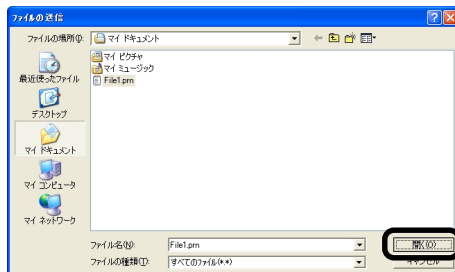
❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[CVO LPRユーティリティ]-[CVO LPRユーティリティ]を選択します。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

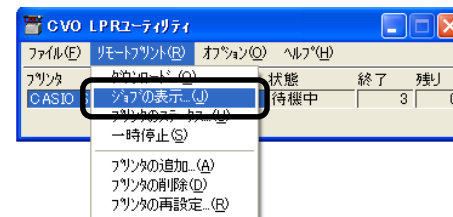
❷ [リモートプリント]メニューの[ダウンロード]を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示、削除と手動転送

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント]メニューの[ジョブの表示]を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[削除]を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[転送]で転送先のプリンタを選択します。

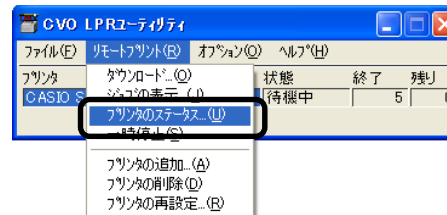
転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめCVO LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶ プリンタを選択します。

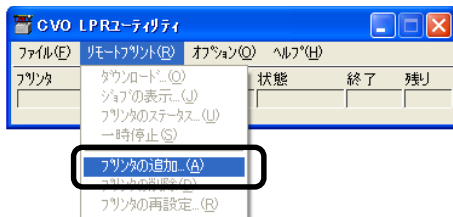
❷ [リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス]を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

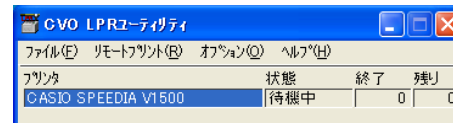
印刷先のポートをCVO LPRポートに変更することができます。

すでにCVO LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶ [リモートプリント]メニューの[プリンタの追加]を選択します。

❷ [プリンタ]を選択し、[IPアドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

[プリンタ]には、「プリンタとFAX」(WindowsXP/Server2003以外の場合は「プリンタ」)フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。WindowsXP/2000/Server2003でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

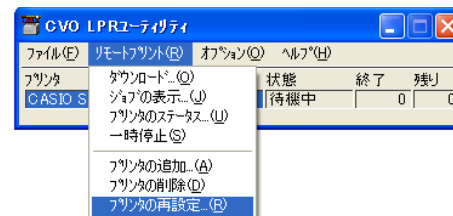
メモ
[検索]をクリックしてネットワーク上のSPEEDIA V1500プリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

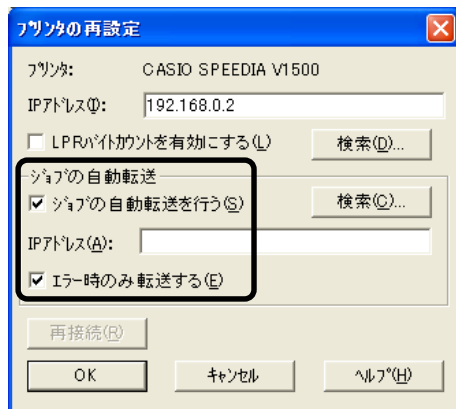
プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント]メニューの[プリンタの再設定]を選択します。

❸ [詳細設定]ボタンをクリックします。

❹ [ジョブの自動転送を行う]にチェックをつけ、転送先プリンタのIPアドレスを設定します。

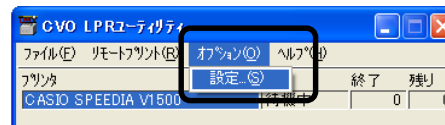
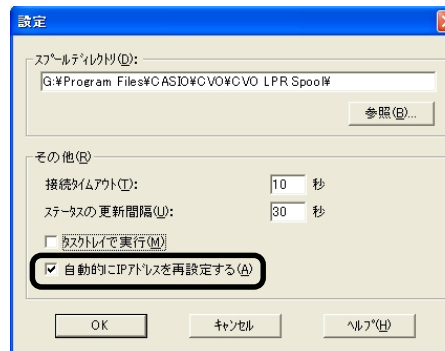
プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、[エラー時のみ転送する]にもチェックを付けます。

メモ [検索]をクリックして、ネットワーク上のSPEEDIA V1500プリンタを検索することもできます。

❺ [OK]をクリックします。

自動的にIPアドレス再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

 検索対象は、CVO LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶ [オプション]メニューの[設定]を選択します。

❷ [自動的にIPアドレスを再設定する]にチェックを付けます。

❸ [OK]をクリックします。

CVO Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/2000/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にCVO Network Extensionがインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  CVO LPR Port
  Standard TCP/IP Port (WindowsXP/2000/Server2003の場合)
- WindowsXP/2000/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

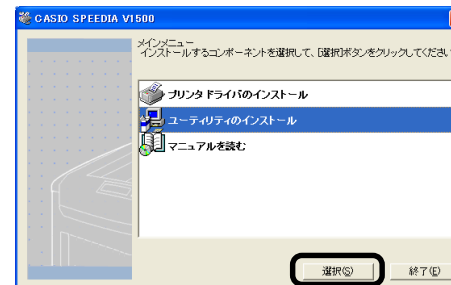
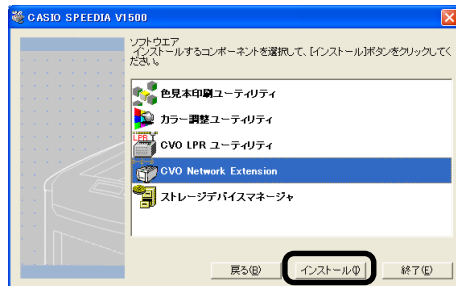
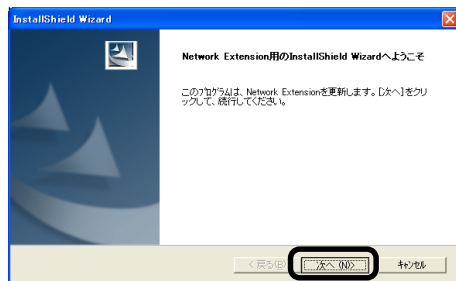
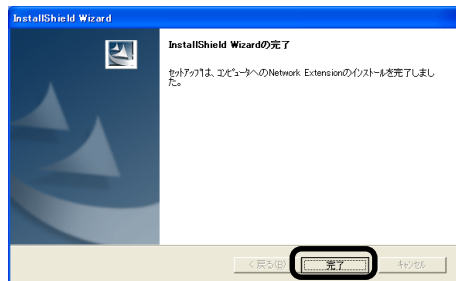
〈WindowsMe/98/2000/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

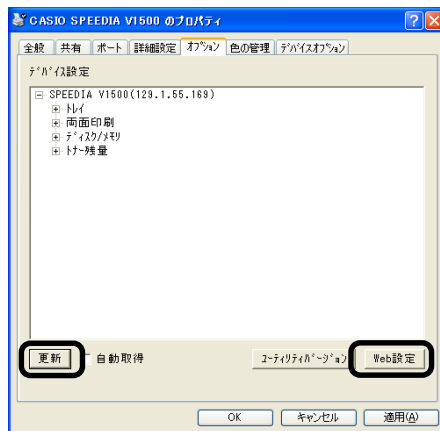
❺ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [CVO Network Extension]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ [完了]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

CVO Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は[オプション]タブは表示されません。

(WindowsXPの画面)

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [オプション]タブをクリックします。

❹ [更新]ボタンをクリックします。

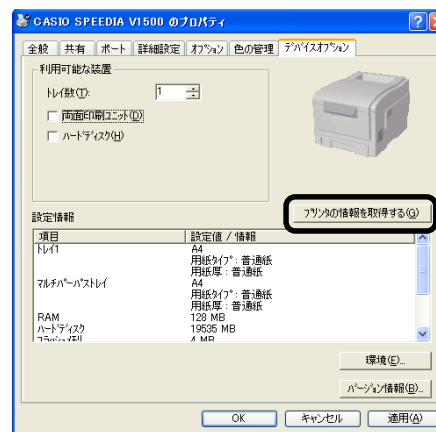
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

❺ [OK]をクリックします。

[Web設定]ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザ」(28ページ)をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

CVO Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [CVO Network Extension]を選択し、画面に従って削除します。

Webブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上もしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.xの場合は、[表示]メニューの[セキュリティ]-[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[プライバシー]-[設定]を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.xの場合は、[編集]メニューの[設定]-[詳細]-[すべてのCookieを受け付ける]に設定します。

Netscape Navigator 6.x〜7の場合は、[編集]メニューの[設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[Cookie]-[すべてのCookieを有効にする]に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：SPEEDIA V1500
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
イーサネットアドレス	：00:80:87:84:9C:9B
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

起動します

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

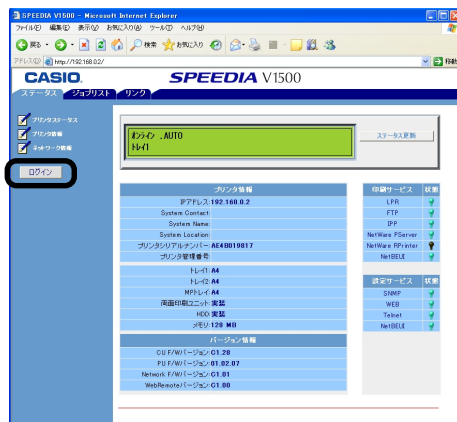
IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
(例) 正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

[プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認：]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

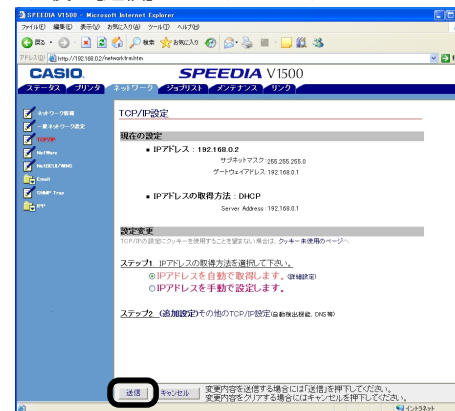
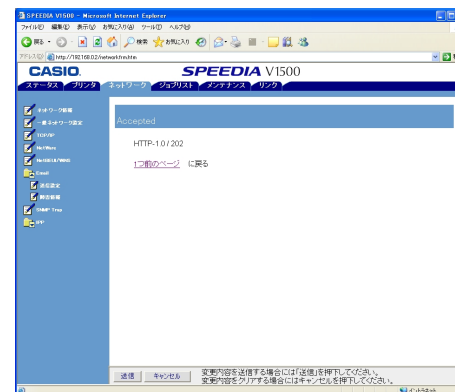
Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定します

注 Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

注 パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

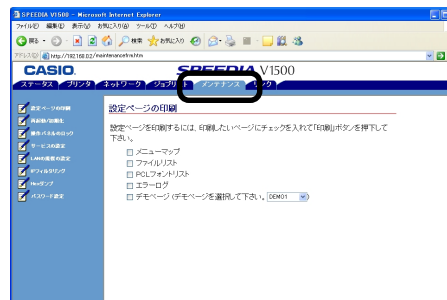
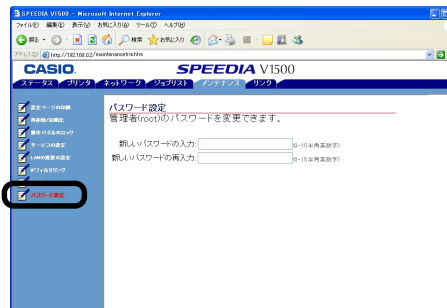
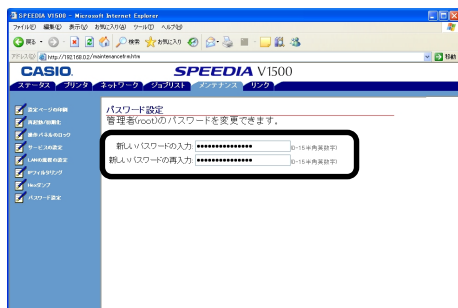
❸ 必要な設定をした後、[送信]をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

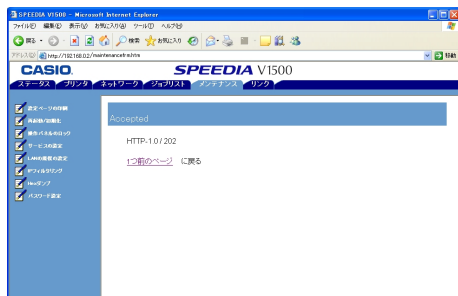
❶ [ログイン]をクリックします。

❷ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

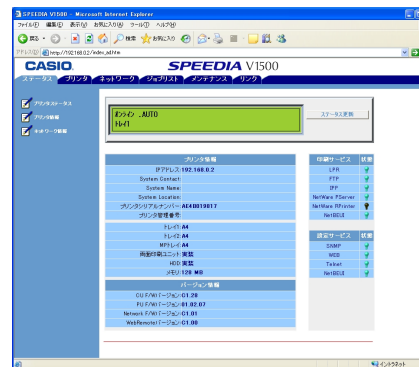
メモ パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❸ [メンテナンス]タブをクリックします。

❹ [パスワードの設定]をクリックします。

❺ [新しいパスワードの入力]に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力]に再度新しいパスワードを入力します。

・パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
・パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
・パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❻ [送信]をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、[Accepted]が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

このパスワードはTELNETのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNETのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

[プリンタステータス]

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

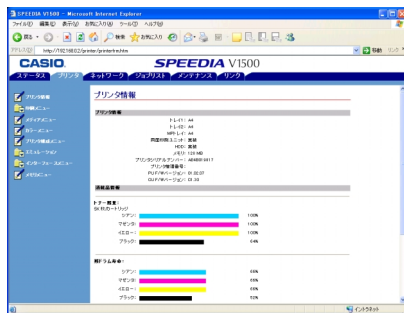
[プリンタ情報]

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

[ネットワーク情報]

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[プリンタ情報]
プリンタのシステム仕様を確認することができます。

[印刷メニュー]
コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[メディアメニュー]
各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[カラーメニュー]
色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

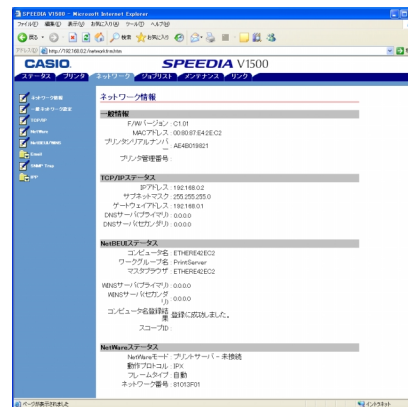
[プリンタ構成メニュー]
パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

[エミュレーション]
サポートしているエミュレーションを設定できます。

[インタフェースメニュー]
ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

[メモリメニュー]
受信バッファサイズの設定。受信バッファ中のデータ消去を実行します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[ネットワーク情報]
ネットワークの設定情報を確認することができます。

[一般設定]
ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。
1) System Contact ...
管理者への連絡先記載エリア
2) System Name ....
プリンタの名称記載エリア
3) System Location ..
プリンタの置き場所記載エリア

[TCP/IP]
TCP/IPに関する情報を設定できます。

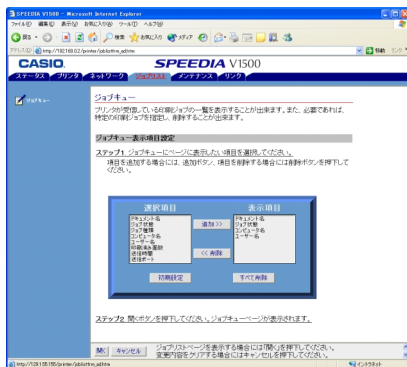
[NetWare]
NetWareに関する情報を設定できます。

[NetBEUI/WINS]
NetBEUI/WINSに関する情報を設定できます。

[Email設定]
プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。

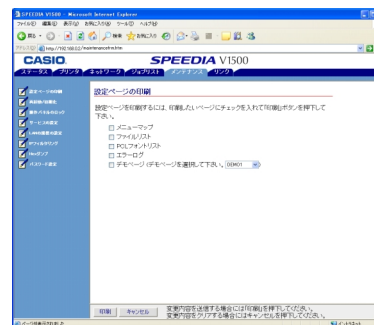
[SNMP Traps]
プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。

[IPP]
IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト タブ

[ジョブキュー]

プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

メンテナンス タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[設定ページの印刷]

メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)は一緒に印刷されます。デモページを上記印刷と同時に印刷させることはできません。

[再起動/初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

工場出荷時設定

プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

[操作パネルのロック]

操作パネル(オペレータパネル)の操作を禁止状態に設定します。

[サービスの設定]

ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

[LANの規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

[IPフィルタリング]

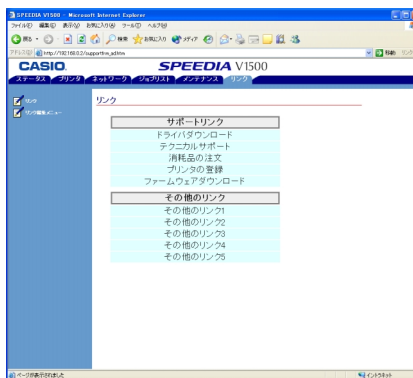
TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います」(139ページ)をご覧ください。「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[Hexダンプ]

受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[パスワード設定]

管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

リンク　タブ

[リンク]

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

[リンク編集メニュー]

管理者が好きなURLを設定できます。

サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。

URLは、http://も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

「Webブラウザ」(28ページ)の「動作環境」を確認してください。

機能説明

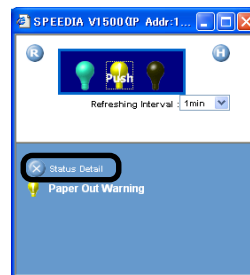
プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害(印刷は可能)	軽障害なし
右のランプ	重障害(印刷は不可能)	重障害なし

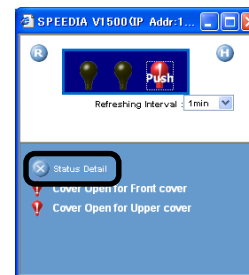
表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

〈カバーが開いている場合〉

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　　：Windows2000 Professional
プリンタ　　：SPEEDIA V1500
IPアドレス　：192.168.0.2
イーサネットアドレス：00:80:87:84:9C:9B

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnetでプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

SPEEDIA V1500は「FastEther8100e」と表示されます。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard FastEther8100e Ver 01.09 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message     Value     (level.1)
-------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 4 : Setup NetBEUI
 5 : Setup printer trap
 6 : Setup SMTP(E-Mail)
 7 : Maintenance
 8 : Display Status
 9 : IP Filtering Setup
97 : Network Reset
98 : Set default(Network)
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

注

8：設定内容を表示します。
97：ネットワークを再起動します。
98：プリンタのネットワークの設定を初期化します。
99：設定を変更して前画面に戻ります。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? _1

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol: DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "*******"
 11 : Auto Discovery Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 11

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Network PnP              : ENABLE
  2 : Rendezvous               : ENABLE
  3 : Printer Name             : "ETHER849C9B"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNMP設定画面

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SysContact                : ""
  2 : SysName                   : ""
  3 : SysLocation               : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetWare設定画面

```
Please select(1-99)? _3

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetWare Protocol : ENABLE
  2 : Protocol         : IPX
  3 : Frame Type       : AUTO
  4 : Printer Name     : "ETHER849C9B-prn1"
  5 : NetWare Mode     : PSERVER
  6 : Setup PSERVER(IP)
  7 : Setup PSERVER(IPX)
  8 : Setup RPRINTER(IPX)
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : NDS Tree                : ""
  2 : NDS Context             : ""
  3 : Print Server Name       : "ETHER849C9B"
  4 : Password                : ""
  5 : Job Polling Time        : 4
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : NDS Tree                : ""
  2 : NDS Context             : ""
  3 : Print Server Name       : "ETHER849C9B"
  4 : Password                : ""
  5 : Job Polling Time        : 4
  6 : Bindery Mode            : ENABLE
  7 : File Server 1           : ""
  8 : File Server 2           : ""
  9 : File Server 3           : ""
 10 : File Server 4           : ""
 11 : File Server 5           : ""
 12 : File Server 6           : ""
 13 : File Server 7           : ""
 14 : File Server 8           : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _8

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Print Server 1            : ""
  2 : Print Server 2            : ""
  3 : Print Server 3            : ""
  4 : Print Server 4            : ""
  5 : Print Server 5            : ""
  6 : Print Server 6            : ""
  7 : Print Server 7            : ""
  8 : Print Server 8            : ""
  9 : Job Timeout               : 10
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1-99)? _4

 No.  Message                 Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : NetBEUI Protocol : ENABLE
  2 : Computer Name    : "ETHER849C9B"
  3 : Workgroup Name   : "PrintServer"
  4 : Comment          : "EthernetBoard
                          FastEther8100e"
  5 : Setup WINS
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : WINS Server (Pri.)     : 0.0.0.0
  2 : WINS Server (Sec.)     : 0.0.0.0
  3 : Scope ID               : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer trap設定画面

```
Please select(1-99)? _5

 No.  Message                 Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : Prn-Trap Community     : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX   trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : TCP#1 Trap Address     : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                 Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : IPX   Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : IPX   Trap Address     : "000000000000"
 11 : IPX   Trap Net         : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SMTP Transmit          : DISABLE
  2 : SMTP Server Name       : ""
  3 : SMTP Port Number       : 25
  4 : E-mail Address         : ""
  5 : Reply-To Address       : ""
  6 : Destination Address 1
  7 : Destination Address 2
  8 : Destination Address 3
  9 : Destination Address 4
 10 : Destination Address 5
 11 : Additional Info
 12 : Comment Line 1         : ""
 13 : Comment Line 2         : ""
 14 : Comment Line 3         : ""
 15 : Comment Line 4         : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : To Address 1           : ""
  2 : Notify mode            : EVENT
  4 : Consumable Warning     : No wait
  5 : Consumable Error       : No wait
  6 : Maintenance Warning    : After 2 Hours
  7 : Maintenance Error      : No Wait
  8 : Paper Warning          : After 15 Minutes
  9 : Paper Error            : No Wait
 10 : Printing Warning       : OFF
 11 : Printing Error         : After 2 Hours
 12 : HDD/Flash Memory       : OFF
 13 : Print Result Warning   : OFF
 14 : Print Result Error     : After 2 Hours
 15 : Interface Warning      : OFF
 16 : Interface Error        : After 2 Hours
 17 : Other Error            : After 2 Hours
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Maintenance設定画面

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : Web Service            : ENABLE
  2 : Web(IPP) Port Number   : 80
  3 : Telnet Service         : ENABLE
  4 : FTP Service            : ENABLE
  5 : SNMP Service           : ENABLE
  6 : LAN Scale              : NORMAL
  7 : DefaultTTL             : 255
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

IP Filtering設定画面

```
Please select(1-99)? _9

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : IP Filtering           : DISABLE
  2 : IP Address range 1
  3 : IP Address range 2
  4 : IP Address range 3
  5 : IP Address range 4
  6 : IP Address range 5
  7 : IP Address range 6
  8 : IP Address range 7
  9 : IP Address range 8
 10 : IP Address range 9
 11 : IP Address range 10
 12 : Admin IP Address       : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

ストレージデバイスマネージャ

プリンタのハードディスク(オプション)の設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をするユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/2000/Server2003日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0以上がインストールされていること

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

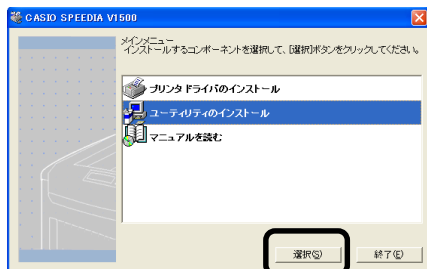
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/2000/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[CSPDV15]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [その他各種ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [ストレージデバイスマネージャ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「CASIO SPEEDIA V1500」画面で[終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

詳しくは
• 「フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)」(69ページ)
• 「ハードディスク(オプション)を初期化したい」(110ページ)
• 「ハードディスク(オプション)やフラッシュメモリの空き容量を確認したい」(114ページ)

をご覧ください。

2 いろいろな用紙に印刷するための設定

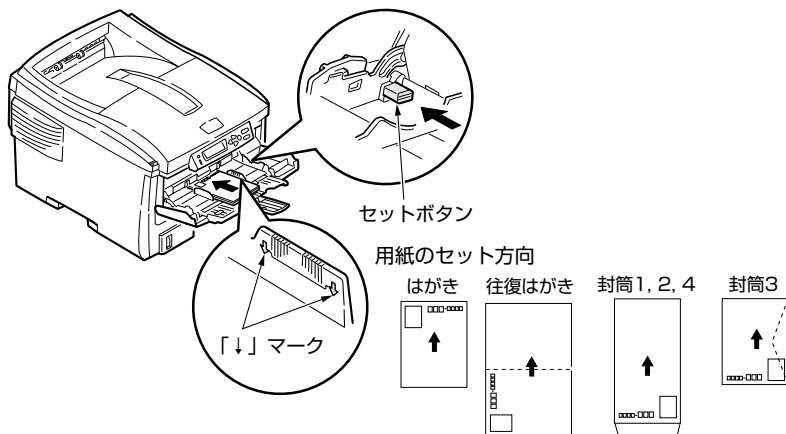
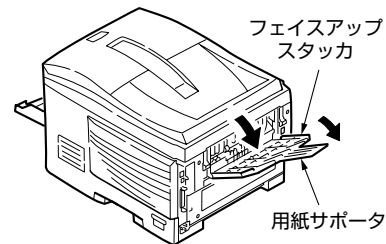
- この章では、[ワードパッド]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

使用できるはがき・封筒の種類については、「使用できる用紙」(セットアップ編120ページ)をご覧ください。

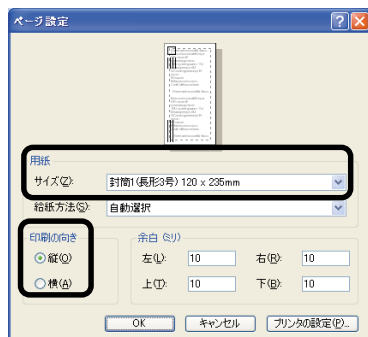
1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくは「6　印刷します」(セットアップ編 130 ページ) の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。

- マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「6　印刷します」(セットアップ編130ページ)の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。
- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷や、両面印刷(オプション)はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。(セットアップ編 39 ページを参照)

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

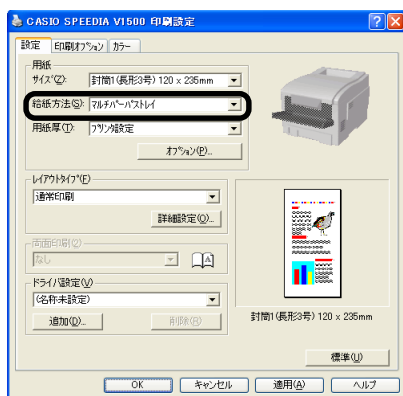
5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒1］～［封筒4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

ラベル紙、OHPシートに印刷したい

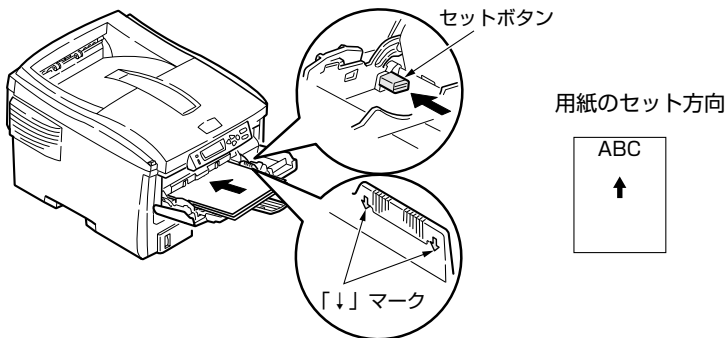
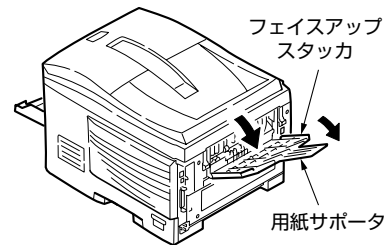
使用できるラベル紙・OHPシートの種類については、「使用できる用紙」(セットアップ編120ページ)をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙、OHPシートはマルチパーパストレイから印刷することができます。

詳しくは「6　印刷します」(セットアップ編 130ページ) の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。

メモ

- マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「6　印刷します」(セットアップ編130ページ)の「マルチパーパストレイの場合」をご覧ください。
- ラベル紙、OHPシートは用紙カセットからの印刷や、両面印刷(オプション)はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。(セットアップ編39ページを参照)

4 操作パネルでメディアタイプを設定します。

❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、[MPトレイ　メディアタイプ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

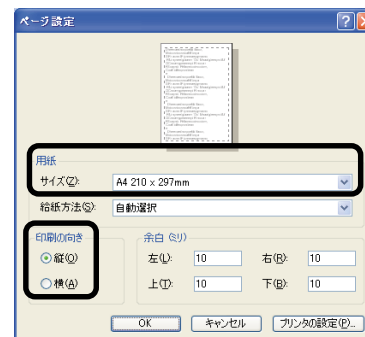
❺ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、[ラベルシ]または[OHP]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

5 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[A4]または[レター]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[ＯＫ]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

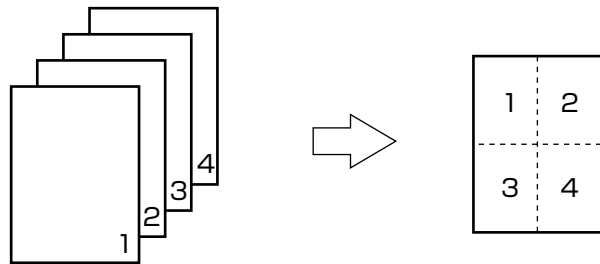
❺ [設定]タブの[給紙方法]で[マルチパーパストレイ]を選択し、[OK]をクリックします。（Windows2000では、[OK]をクリックする必要はありません。）

❻ 「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

3 便利な印刷機能

・この章では、[ワードパッド]を例にしています。
・アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
・プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
・プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを1枚に印刷したい

複数ページのデータを1枚の用紙に縮小して印刷できます。

・この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
・アプリケーションによっては利用できない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

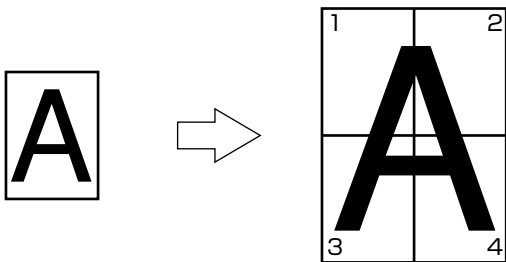
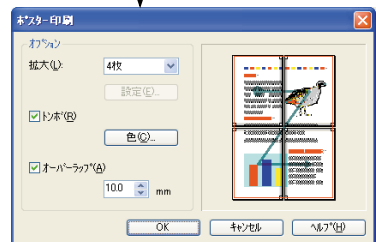
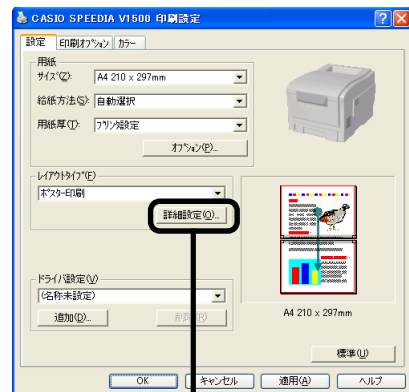
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[レイアウトタイプ]で[n-up](nは1枚に印刷するページ数)を選択します。

❺ [詳細設定]をクリックし、必要に応じて[枠線]、[ページ配置]、[とじ代]を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- WindowsXP/2000/Server2003でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000/Server2003で[ポスター印刷]が動作しない場合は、[プリンタとＦＡＸ]または[プリンタ]フォルダの[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[CPV3PP3]を選択してください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定]タブの[レイアウトタイプ]で[ポスター印刷]を選択します。

❺ [詳細設定]をクリックし、必要に応じて[拡大]、[トンボ]、[オーバーラップ]などを設定できます。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

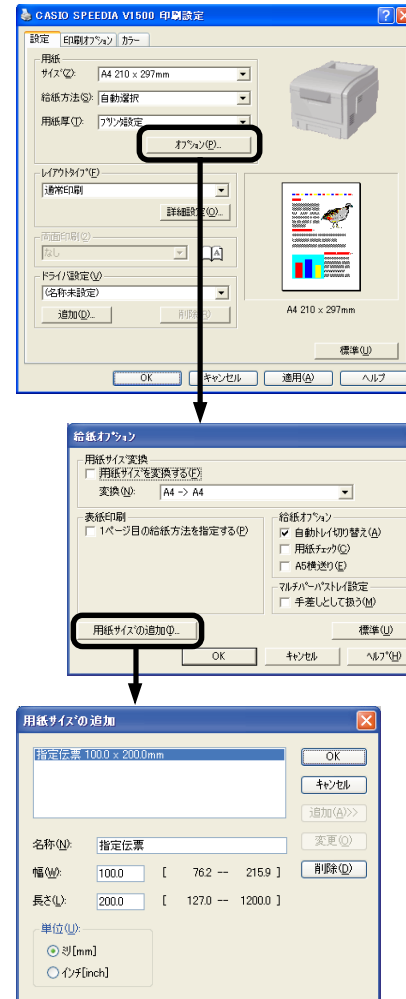
独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

- 長さが355.6mmを超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップで排出してください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが355.6mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。
- マルチパーパストレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 用紙カセット（トレイ1、トレイ2）から給紙する場合は、プリンタ側の「メディアメニュー」の「トレイ1　ヨウシサイズ」または「トレイ2　ヨウシサイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- 幅が100mm未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、デフォルト設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。

［設定できるサイズ］
幅　：100〜215.9mm
長さ：148〜1200mm

［用紙カセットから給紙できるサイズ］

	トレイ1	トレイ2
幅	：105〜215.9mm	148〜215.9mm
長さ	：148〜355.6mm	210〜355.6mm

［両面印刷できるサイズ］
幅　：148〜215.9mm
長さ：210〜355.6mm

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷プロパティを開きます。

WindowsMe/98の場合
［CASIO SPEEDIA V1500］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
［CASIO SPEEDIA V1500］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

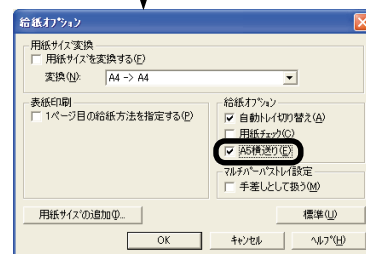
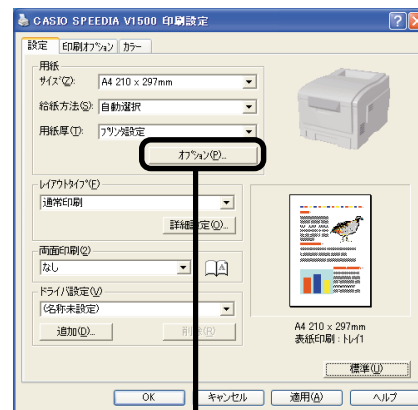
❺「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❻［追加］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

A5用紙を横送りで印刷したい

A5用紙を横置きにセットして印刷することができます。

- A5用紙横送り印刷は、マルチパーパストレイ、トレイ1から印刷することができます。
- プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]を選択し、マルチパーパストレイから印刷させる場合には、プリンタ側の「インサツ メニュー」の「MPトレイ ノ ツカイカタ」を「ヨウシ チガイ ノ トキ」に設定する必要があります。
「トレイを自動的に選択したい」(55ページ)をご覧ください。
以下の設定も、同様な手順にて行うことができます。
- マルチパーパストレイから給紙する場合は、プリンタ側の「メディアメニュー」の「MPトレイ ヨウシサイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- トレイ1から給紙する場合は、プリンタ側の「メディアメニュー」の「トレイ1 ヨウシサイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- プリンタ側の「メディアメニュー」の「ヨウシハバ サイズ」を「210 ミリメートル」、「ヨウシナガサ サイズ」を「148 ミリメートル」に設定する必要があります。
- 両面印刷、ポスター印刷、製本印刷、N-up印刷、用紙サイズ変換の機能は利用できません。

❶ [スタート]- [設定]- [プリンタ]を選択します。

（WindowsXPでは、[スタート]- [コントロールパネル]- [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとＦＡＸ] をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98の場合

[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

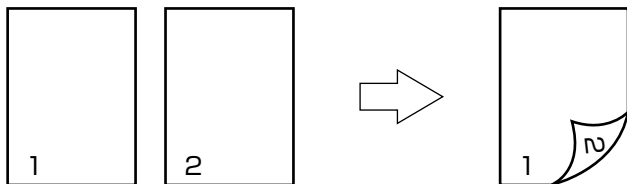
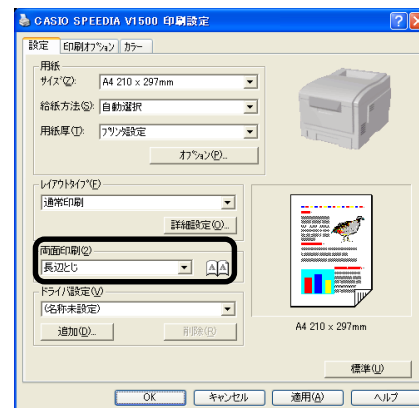
WindowsXP/2000/Server 2003の場合

[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

❹ [A5横送り]にチェックを付けます。

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。

・オプションの両面印刷装置が必要です。
・両面印刷する場合は、64MBのメモリの増設を推奨します。
・プリンタドライバで両面印刷装置を取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷装置」（セットアップ編35ページ）をご覧ください。
・アプリケーションによっては利用できない場合があります。
・両面印刷できる用紙サイズはA4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブおよびカスタムサイズです。A6用紙は使用できません。
・両面印刷できるカスタムサイズの幅の長さの範囲については、「任意の用紙サイズに印刷したい」（50ページ）をご覧ください。
・両面印刷できる用紙の厚さは、連量55kg～90kg(64～105g/m²)です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定]タブの[両面印刷]で[長辺とじ]または[短辺とじ]を選択します。

モノクロ(白黒)を高速で印刷したい

モノクロ(白黒)ページを高速(24ページ/分)で印刷します。
操作パネルでは4種類の設定ができます。

プリンタドライバでの設定方法

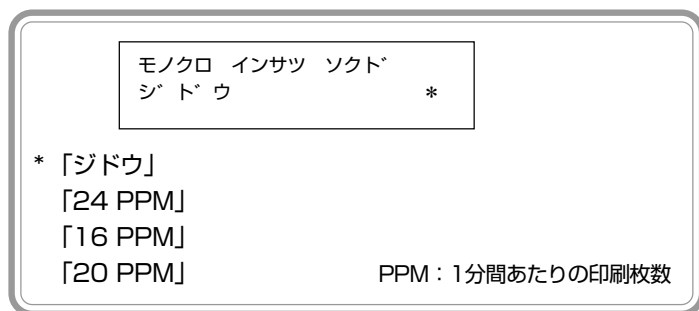
プリンタドライバでの設定方法は、「モノクロ(白黒)で印刷したい」(96ページ)をご覧ください。モノクロを高速(24ページ/分)で印刷することができます。

操作パネルでの設定方法

操作パネルでモノクロインサツソクドを設定します。

モノクロ　インサツ　ソクド゛
ジ゛ド゛ウ　　　　　　　＊

＊「ジドウ」
「24 PPM」
「16 PPM」
「20 PPM」

PPM：1分間あたりの印刷枚数

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インサツ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[モノクロ　インサツ　ソクド]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

〈「ジドウ」の場合〉
通常は[ジドウ]のままご利用ください。ジョブの先頭がモノクロページの場合に20PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると16PPMに印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。

〈「24PPM」の場合〉
モノクロの大量印刷に適しています。ジョブの先頭がモノクロページの場合に24PPMで印刷しますが、ジョブの途中にカラーページが来ると16PPMに印刷速度を下げてジョブの最後まで印刷します。

〈「16PPM」の場合〉
カラーの大量印刷に適しています。モノクロ／カラーページいずれの場合も常に16PPMで印字しますのでモノクロ／カラーページの切り替わる際の待ち時間はありません。

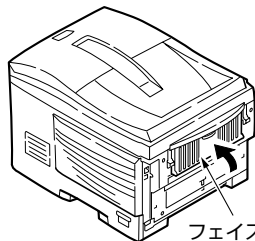
〈「20PPM」の場合〉
1つのジョブ内でカラーページの後にモノクロページを大量に含むデータを印刷する場合に適しています。モノクロページは常に20PPM、カラーページは常に16PPMで印刷しますのでモノクロ／カラーページの切り替わる際の待ち時間が発生します。

ページ順に取り出したい

複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

3

ページ順に取り出したい

フェイスダウンで排出する

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注 連量が151～172kg(176～200g/m²)の用紙、A6サイズ、長さが355.6mmを超えるカスタムサイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは必ずフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ(トレイ1、トレイ2(オプション)、マルチパーパストレイ)を自動的に選択して印刷できます。

・必ず操作パネルでトレイ1、トレイ2(オプション)、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは「印刷します」(セットアップ編132ページ)をご覧ください。
・メニュー設定の「MPトレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「シヨウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルでMPトレイ(マルチパーパストレイ)の使い方を設定します。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[インサツ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

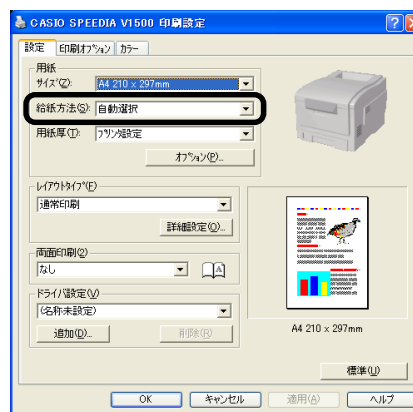
❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[MPトレイ　ノ　ツカイカタ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ヨウシチガイ　ノ　トキ]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

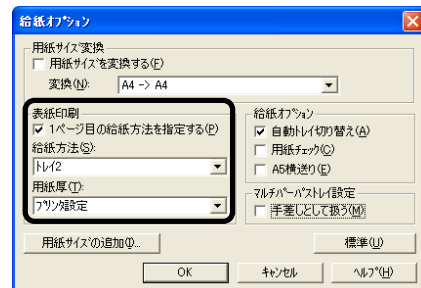
2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[設定]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

複数ページの印刷ジョブで１ページ目を別のトレイから給紙できます。１ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［表紙印刷］の［１ページ目の給紙方法を指定する］にチェックを付け、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ1、トレイ2(オプション)、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

- 必ず操作パネルで、用紙カセットの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。詳しくは「印刷します」(セットアップ編128ページ)をご覧ください。
- メニュー設定の「MPトレイ　ノ　ツカイカタ」の初期値は、「シヨウシナイ」になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルでMPトレイ(マルチパーパストレイ)の使い方を設定します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定/実行」スイッチを押します。

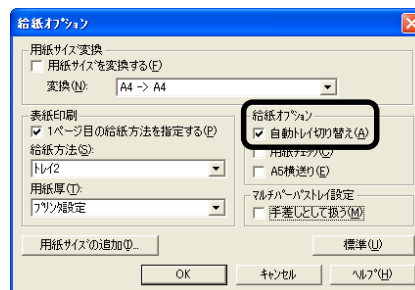
❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[MPトレイ　ノ　ツカイカタ]を表示します。

❹ 「設定/実行」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[ヨウシチガイ　ノ　トキ]を表示します。

❻ 「設定/実行」スイッチを押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

2 プリンタドライバで[自動トレイ切り替え]を設定します。

❶ アプリケーションを起動します。

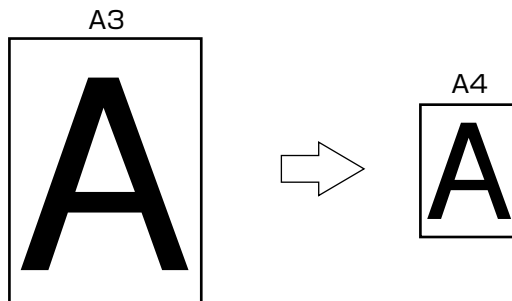
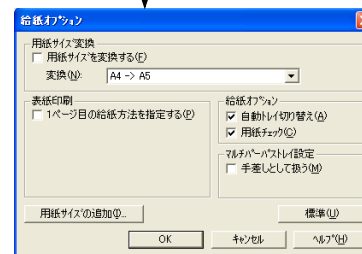
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

❺ [自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

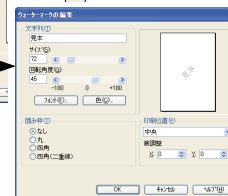
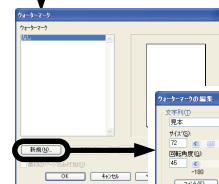
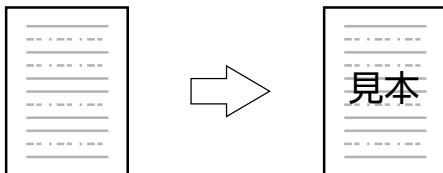
❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[サイズ]で編集する用紙サイズを選択します。

❺ [オプション]をクリックします。

❻ [用紙サイズを変換する]にチェックを付け、[変換]で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい(スタンプ印刷)

アプリケーションから印刷される内容とは独立して[見本]や[社外秘]などの文字を重ね印刷できます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[ウォーターマーク]をクリックします。

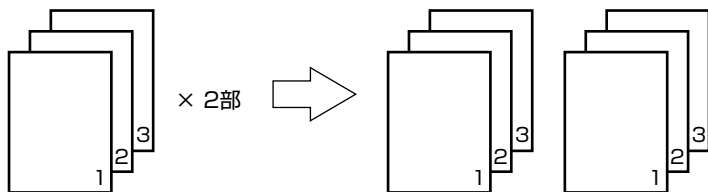
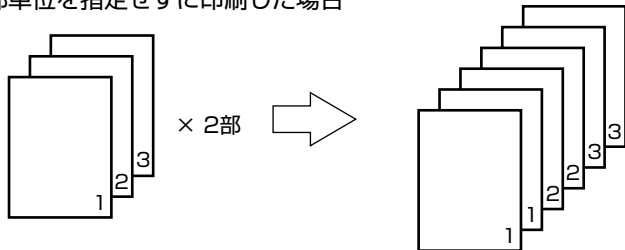
❺ [新規]をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で[文字列]を入力し[サイズ]他を選択します。

❼ [OK]をクリックします。

文書を部単位で印刷したい(丁合印刷)

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

・印刷ジョブを蓄えるメモリの容量が不足した場合、[チョウアイエラー]を表示して一部のみ印刷を行います。「オンライン」スイッチを押すとワーニング表示は消えます。プリンタにハードディスクが装着されていると、メモリが不足してもハードディスクに蓄えて印刷します。

・アプリケーションによっては利用できない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

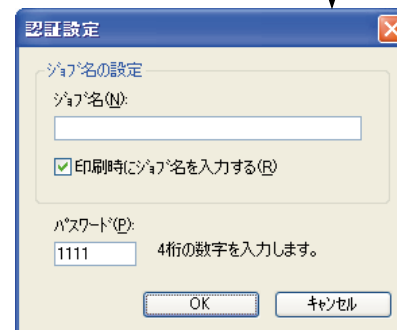
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力し、[部単位で印刷]にチェックを付けます。

複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、最初に一部のみ印刷して確認し、その後残りの部数を印刷することができます。

- プリンタにハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄えるハードディスクの容量が不足した場合、［ディスク　ファイルシステム　フル］を表示して印刷は行われません。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- プリンタドライバでハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編33ページ）の「ハードディスク」をご覧ください。
- ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- 部数は2部以上指定してください。

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力します。

❺ ［印刷形式］で［確認印刷］を選択します。

❻ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❼ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 印刷結果を確認します。

3 問題がなければ、プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト]で 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ 「設定／実行」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、 「設定／実行」スイッチを押します。

残りの部数の印刷が行われます。

メモ

- パスワードを誤って入力した場合は、 「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❻で 「キャンセル」スイッチを押すと[ジョブ　サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL]と表示します。 「設定／実行」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、CVOストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

CVO ストレージデバイスマネージャ(Windows)でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[保存ジョブの管理]を選択します。

❺ [確認印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(初期値はPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての確認印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- プリンタにハードディスク（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄えるハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバでハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップ編33ページ）の「ハードディスク」をご覧ください。
- ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

1 アプリケーションから印刷します。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹[印刷オプション]タブの[印刷形式]で[認証印刷]を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸、❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト]で 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ 「設定／実行」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、 「設定／実行」スイッチを押します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

メモ
- パスワードを誤って入力した場合は、 「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順6で 「キャンセル」スイッチを押すと[ジョブ　サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL]と表示します。 「設定／実行」スイッチを押すとジョブを削除できます。
  また、ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

ストレージデバイスマネージャ(Windows)でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[保存ジョブの管理]を選択します。

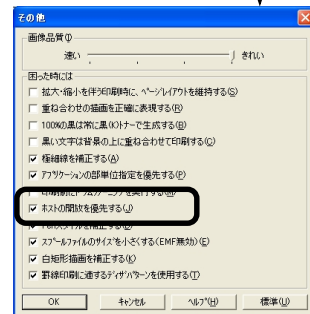
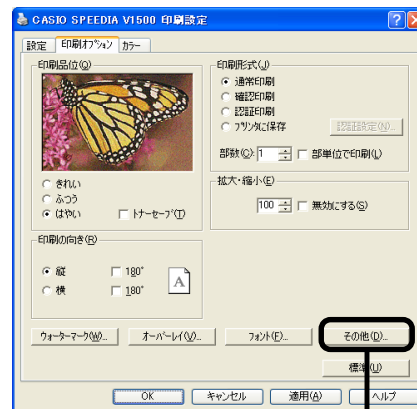
❺ [認証印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(初期値はPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

PCの開放を早くしたい(バッファ印刷)

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

・プリンタにハードディスク(オプション)が装着されている場合に利用できます。
・印刷ジョブを蓄えるハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
・プリンタドライバでハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」(セットアップ編33ページ)の「ハードディスク」をご覧ください。
・ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
・スプールしない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

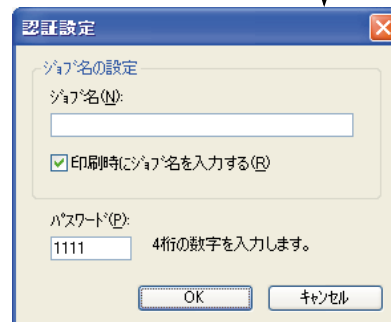
❸[プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺[ホストの開放を優先する]にチェックを付けます。

ジョブを保存して繰り返し印刷したい

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

- プリンタにハードディスク(オプション)が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存するハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバでハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」(セットアップ編33ページ)の「ハードディスク」をご覧ください。
- ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[プリンタに保存]を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、2つ目の桁に移動します。

❺ 手順❸, ❹を繰り返し、4桁のパスワードを入力します。

❻ [ジョブセレクト]で 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ 「設定／実行」スイッチを押します。

❽ [COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、「設定／実行」スイッチを押します。

印刷が行われます。

メモ

・パスワードを誤って入力した場合は、「戻る」スイッチを押し、設定しなおします。

・印刷を行わない場合は、手順6で 「キャンセル」スイッチを押すと[ジョブ　サクジョ　Y=ENTER / N=CANCEL]と表示します。「設定／実行」スイッチを押すとジョブを削除できます。
また、ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

ストレージデバイスマネージャ(Windows)でジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[保存ジョブの管理]を選択します。

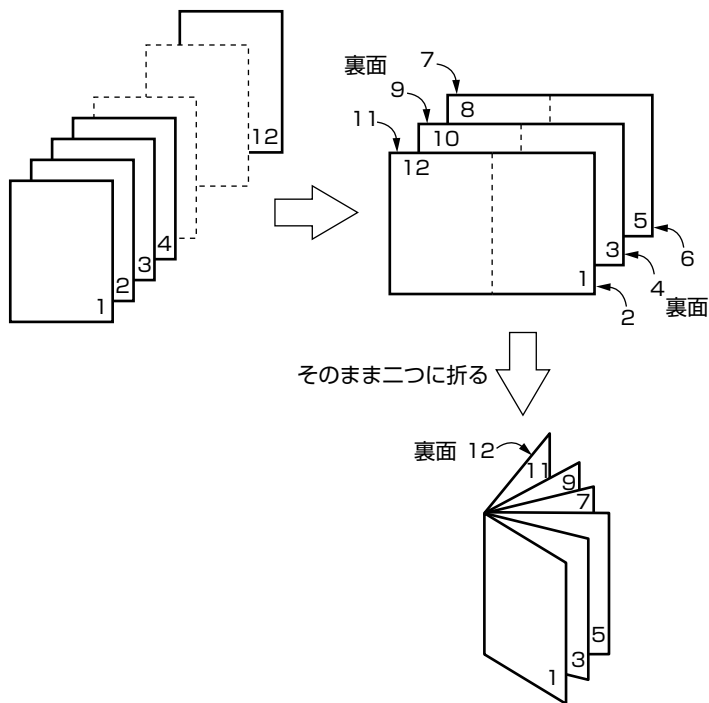
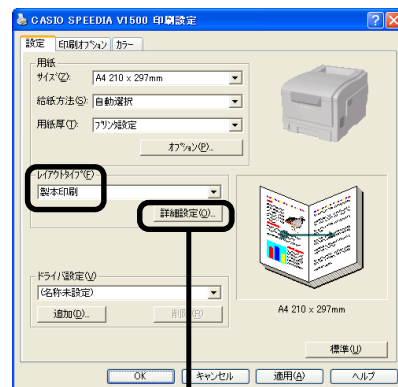
❺ [認証印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(初期値はPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

小冊子を作りたい(製本印刷)

パンフレットのような小冊子を作成できます。

- アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- オプションの両面印刷装置が必要です。
- プリンタドライバで両面印刷装置を取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「両面印刷装置」(セットアップ編37ページ)をご覧ください。

- WindowsXP/2000/Server2003 でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000/Server2003で[製本印刷]が選択できない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[CPV3PP3]を選択してください。

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [設定]タブの[レイアウトタイプ]で[製本印刷]を選択します。
5. [詳細設定]をクリックし、必要に応じて[折丁]、[2up]、[右開き]、[とじ代]を設定します。

   折丁
   製本するページの単位です。

   右開き
   小冊子が右開きになるよう印刷します。
6. [設定]タブの[サイズ]で用紙サイズを選択し、[オプション]をクリックして[用紙サイズを変換する]にチェックを付けて、[変換]で該当する値を選択します。

(例) A4サイズの用紙を使用してA5サイズの小冊子を作る場合
[詳細設定]の[用紙サイズ]で[A4]を選択します。

フォームを登録したい(フォームオーバーレイ)

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

・プリンタにハードディスク(オプション)が装着されている場合に利用できます。
・ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」(40ページ)をご覧ください。

1 フォームを作成します。

❶ [印刷先のポート]を[FILE:]にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」(78ページ)をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ [印刷先のポート]を元に戻します。

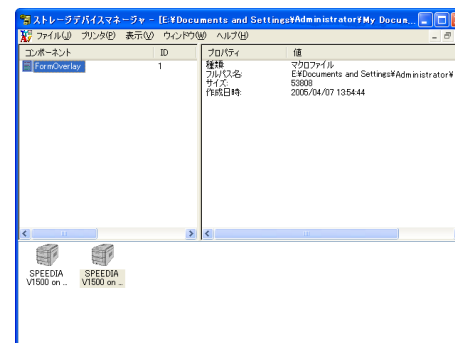
2 ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ [ファイル]メニューから[プロジェクトの新規作成]を選択します。

❺ [ファイル]メニューの[プロジェクトへファイルの追加]を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID]に任意の数字を入力し、[OK]をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル]メニューから[プロジェクトの送信]を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で[OK]をクリックします。

❾ ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

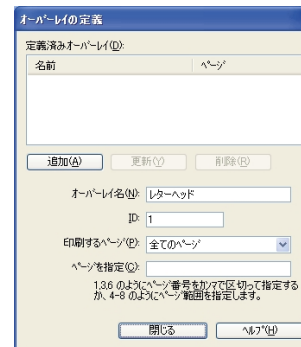
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[オーバーレイ]をクリックします。

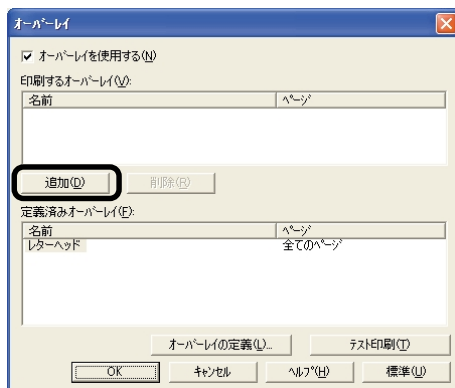
❺「オーバーレイ」画面の[オーバーレイを使用する]にチェックを付け、[オーバーレイの定義]をクリックします。

❻ [オーバーレイ名]を入力し、[ID]にストレージデバイスマネージャで登録したフォームのIDを入力します。

メモ オーバーレイはフォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのID(フォームファイル)を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [印刷するページ]でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、[ページを指定]に適用するページを入力します。

❽ [追加]をクリックします。

❾ [閉じる]をクリックします。

⑩定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⑪印刷します。

高解像度で印刷したい

600×1200dpiの高解像度で印刷することができます。

❶アプリケーションを起動します。

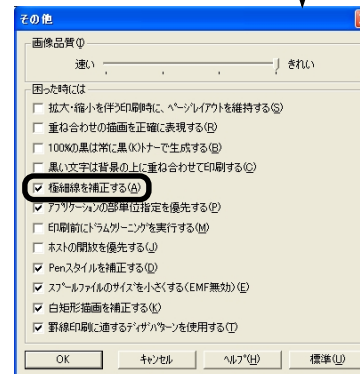
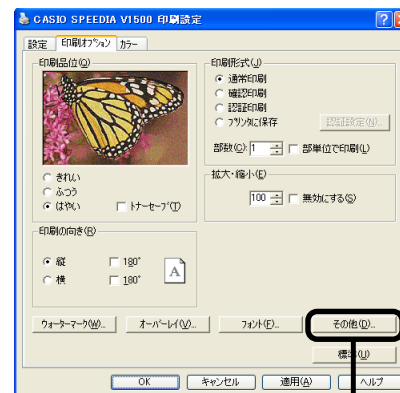
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

細線がかすれるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

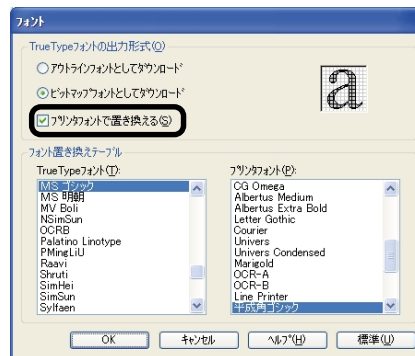
❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺ [極細線を補正する]にチェックを付けます。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXPでは[詳細設定]）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

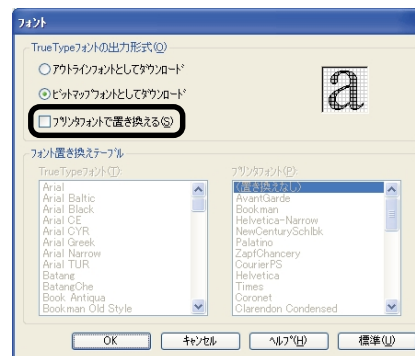
❹ [印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。

❺「フォント」画面の[プリンタフォントで置き換える]にチェックを付けます。

❻ [フォント置き換えテーブル]でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueTypeフォントを画面表示のまま出力できます。

印刷時間が長くなることがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。

❺ 「フォント」画面の[プリンタフォントで置き換える]のチェックを外します。

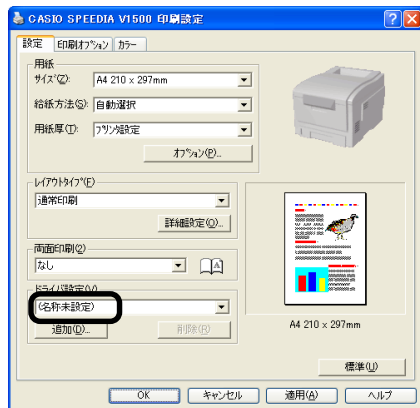
アウトラインフォントとしてダウンロード

プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード

プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

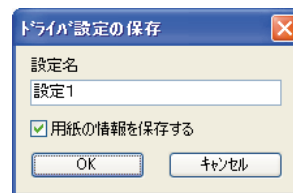
プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98の場合
[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
[CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定]タブの[ドライバ設定]で[追加]を選択します。

❺ [設定名]に設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

用紙情報を保存する
チェックを付けると、[設定]タブの[用紙]の設定も保存します。

最大14個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

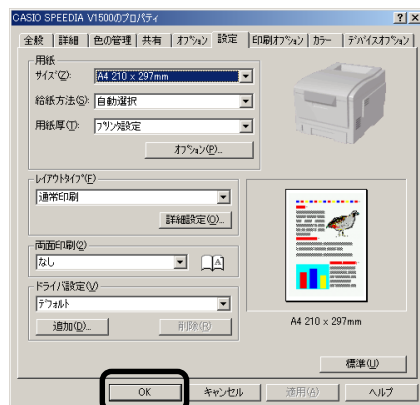
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [ドライバ設定]で、使用する設定を選択し、[OK]をクリックします。

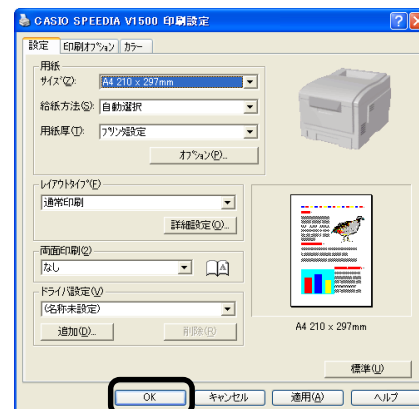
プリンタドライバのデフォルトを変更したい

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

WindowsMe/98プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/Server2003プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXPでは、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

トナーをセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によって異なります。

・100%黒の色には無効です。
・ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

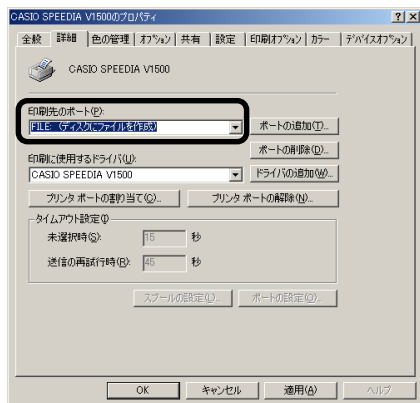
❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[トナーセーブ]をチェックします。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

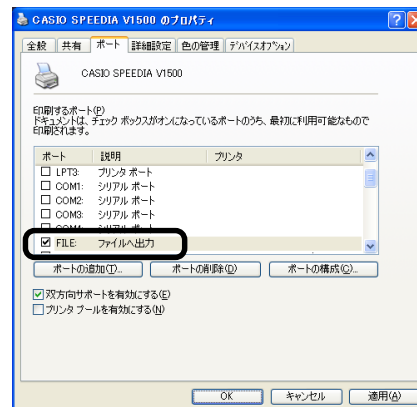
WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[ファイル名]を入力し、[フォルダ]を選択し、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/Server2003プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリック、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❷ [CASIO SPEEDIA V1500]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[出力先ファイル名]を入力し、[OK]をクリックします。

4 カラーについて

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します(加法混色)。一方プリンタは白(白色光)に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します(減法混色)。RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム(CMS)といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

カラーマッチングしたい(ASICカラーマッチング)

プリンタに搭載されている専用アクセラレータ(ASIC)を使用してカラーマッチングを行います。

- カラー調整の選択肢はRGBカラースペースの印刷データに対して有効です。
- CMYKカラースペースの印刷データはプリンタのCMYK各色の配合を直接指定しているのでカラー調整の選択肢は有効になりません。
- CMYKカラースペースの印刷データはCMYKシミュレーションの選択肢が利用できます。詳しくは「印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい」を参照してください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(推奨)]を選択します。

[カラー(ユーザ設定)]にすると[カラー調整]、[黒の生成]、[明暗の調整]が設定できます。

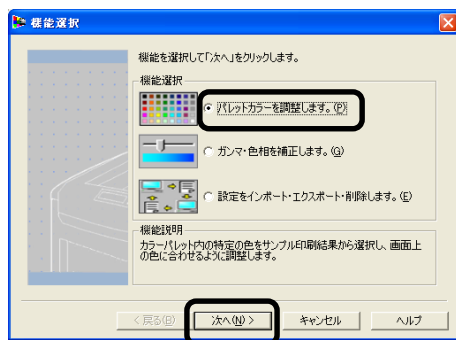
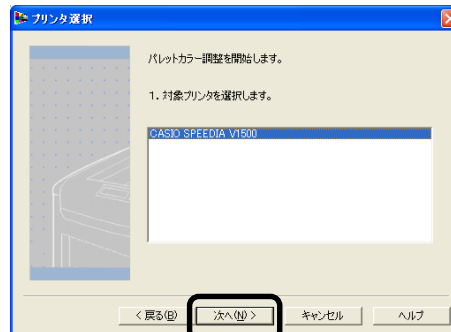
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft ExcelやWordなどで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

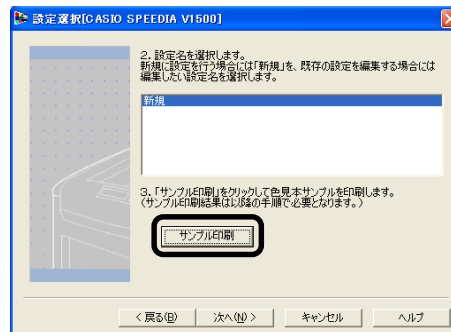
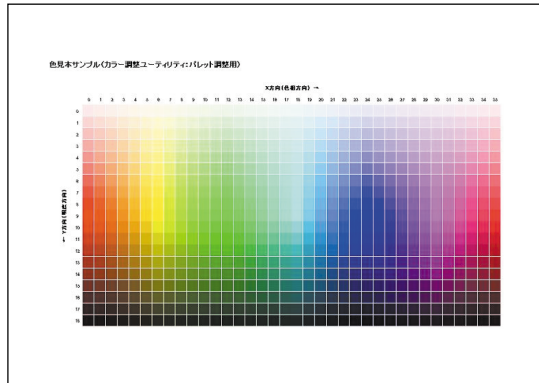
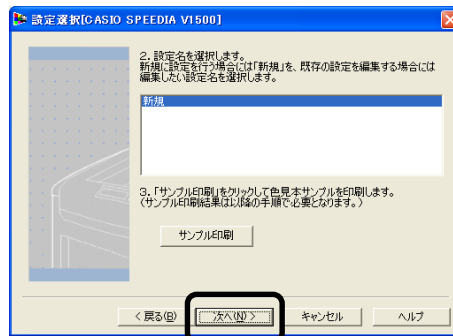
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、15ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、WindowsXP/2000/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

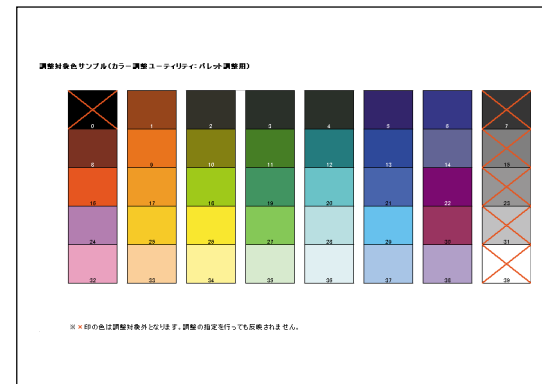
❷ [パレットカラーを調整します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

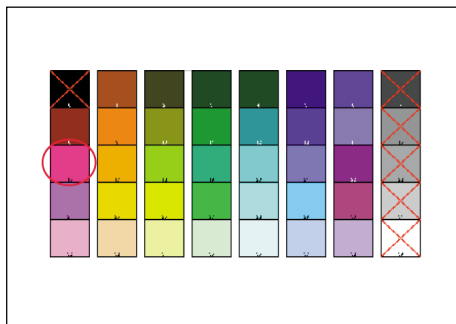
❹「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して[サンプル印刷]をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❺ [次へ]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻ [テスト印刷]をクリックします。

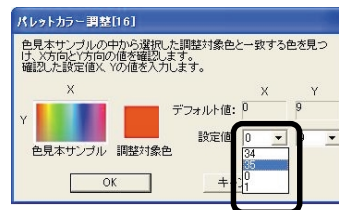
「調整対象色サンプル」が印刷されます。

注 ×印がついている色は調整できません。

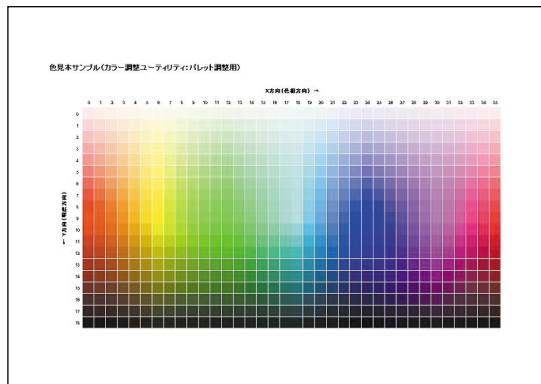
❼「パレットカラー調整」画面のパレット(画面色)と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。(以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です)

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

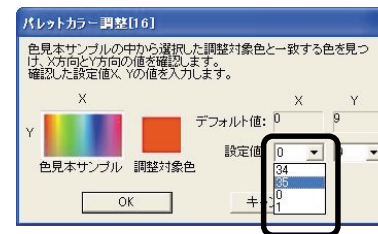
❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色(画面色)をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

⑩「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

⑪「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⑫「調整値入力」画面で、⑩で確認したX値とY値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⑬[テスト印刷]をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、[次へ]をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、⑧〜⑬を繰り返します。

⓮ 設定の名前を入力し、[保存]をクリックします。

⓯ [OK]をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

⓰ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(ユーザ設定)]を選択します。

❺ [カラー調整]で[ユーザー設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

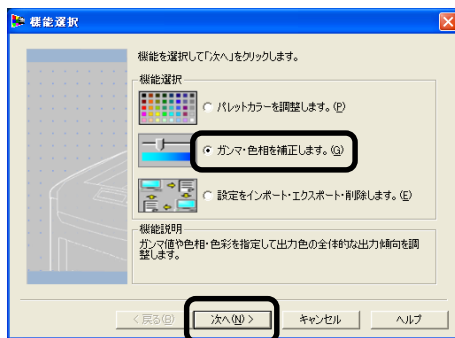
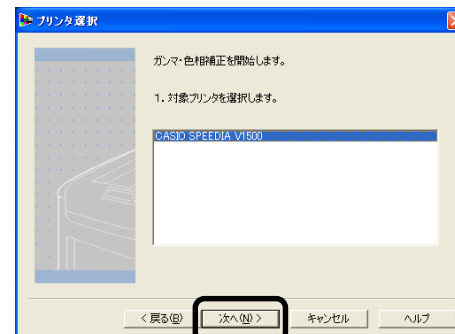
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

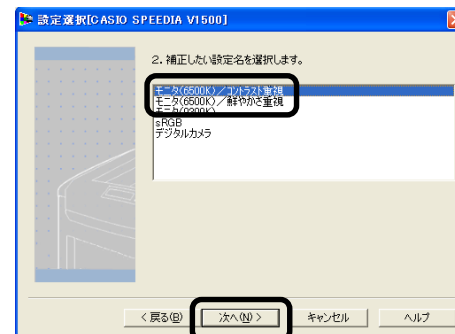
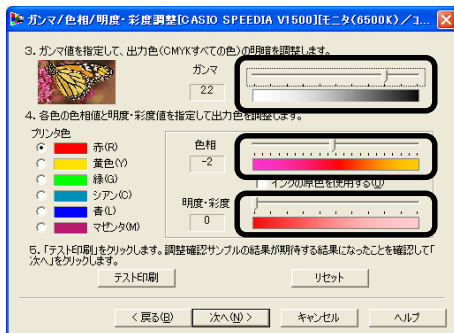
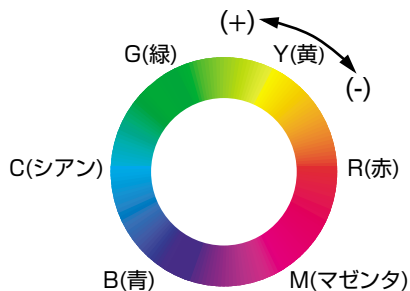
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、15ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

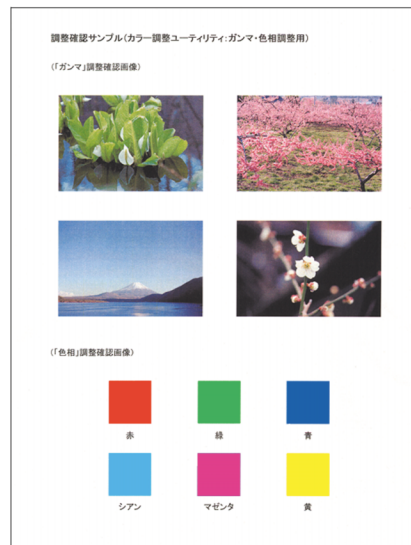
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [ガンマ・色相を補正します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

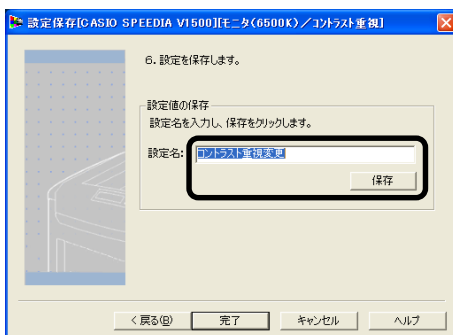
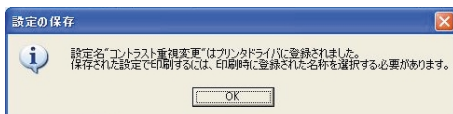
メモ インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、[次へ]をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ
・ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相/明度用スライドバーで出力色を調整できます。
・[ガンマ]を左方向に調整するほど明るくなります。
・プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
・[色相]は色相環の順方向(＋)または逆方向(－)に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(＋)方向に動かすとG(緑)に近づき、(－)方向に動かすとR(赤)に近づきます。

メモ [インクの原色を使用する]は、トナーの原色100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては[色相]スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン(C)	シアントナー100%
マゼンタ(M)	マゼンタトナー100%
イエロー(Y)	イエロートナー100%
赤(R)	マゼンタトナー100% ＋ イエロートナー100%
緑(G)	シアントナー100% ＋ イエロートナー100%
青(B)	シアントナー100% ＋ マゼンタトナー100%

❻ [テスト印刷]をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、[設定]をクリックします。

希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ [保存]をクリックします。

❾ 設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

❿ [OK]をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[完了]をクリックしてください。

⓫ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(ユーザ設定)]を選択します。

❺ [カラー調整]で[ユーザー設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

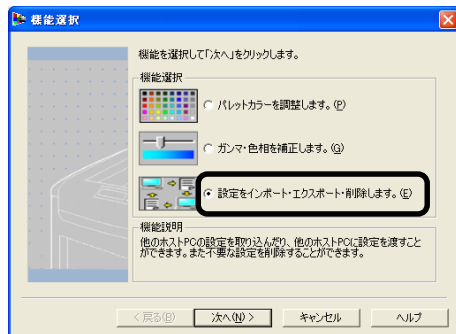
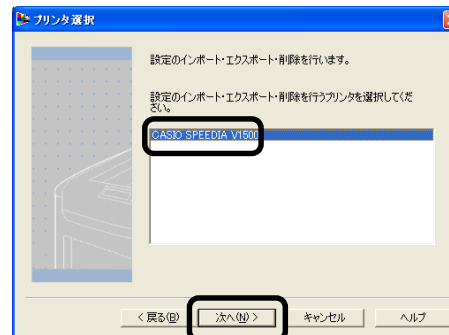
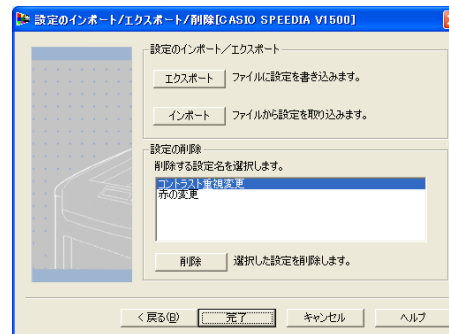
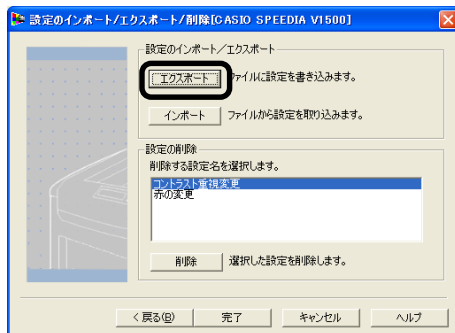
カラー調整の設定をファイルに保存したい

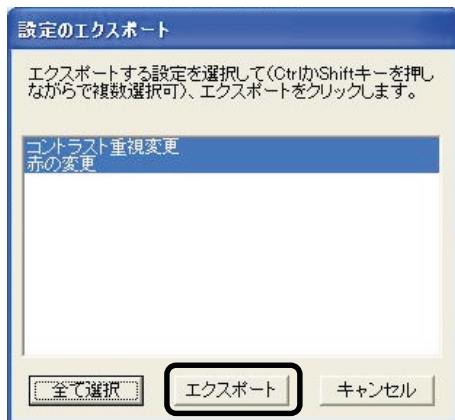
カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、15ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

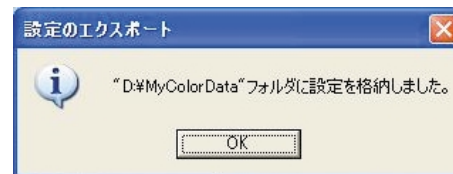
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

❶[エクスポート]をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、[エクスポート]をクリックします。

メモ　CtrlキーまたはShiftキーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して[保存]をクリックします。

❹[OK]をクリックします。

❺[完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

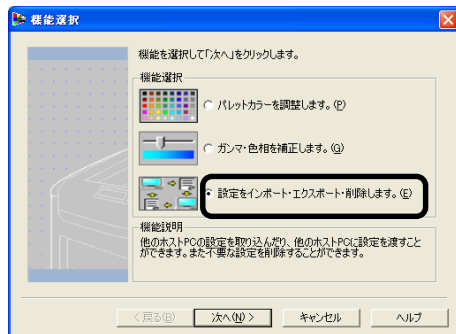
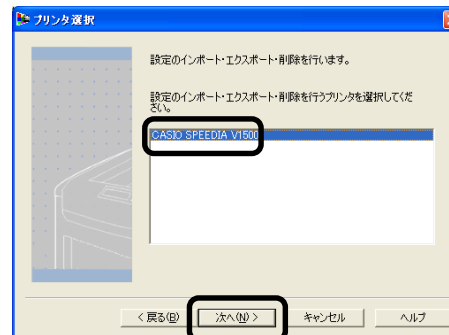
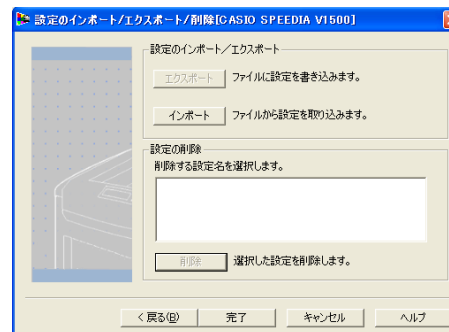
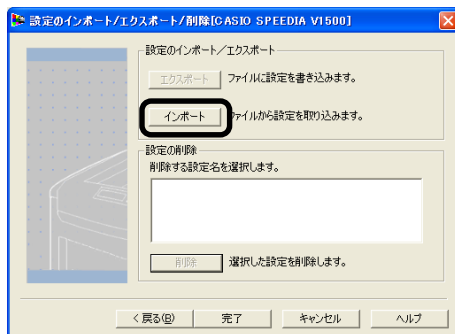
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい

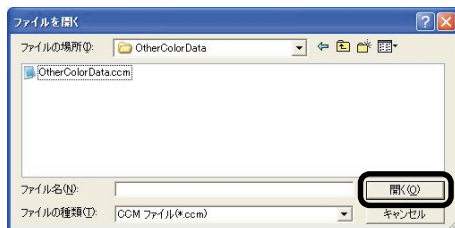
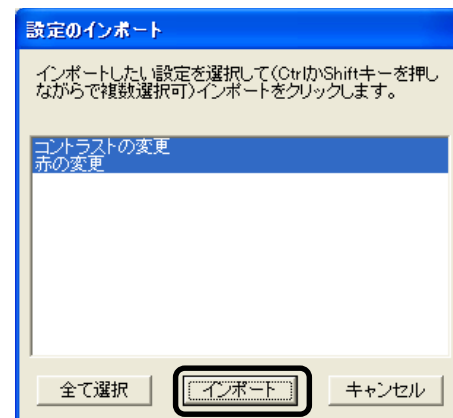
カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

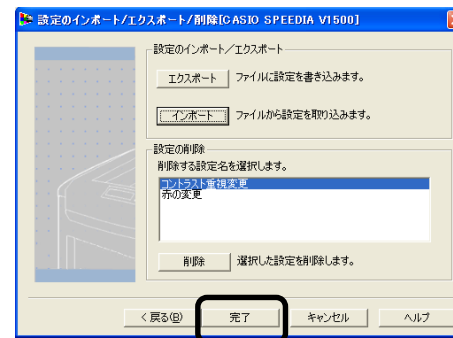
・カラー調整ユーティリティのセットアップについては、15ページをご覧ください。
・プリンタドライバごとに設定を行ってください。
・テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
・プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
・カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を読み込みたいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

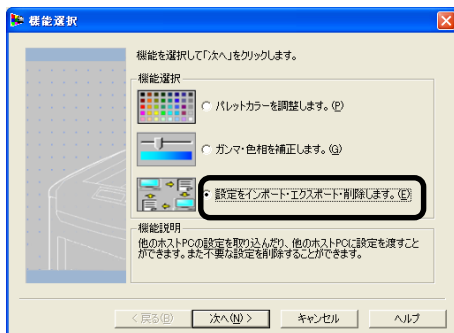
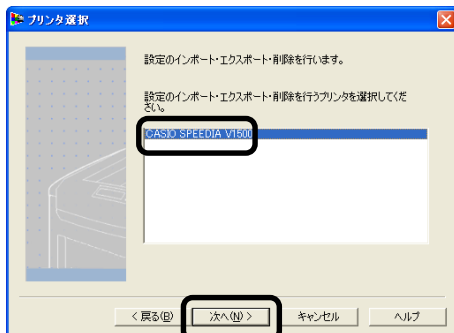
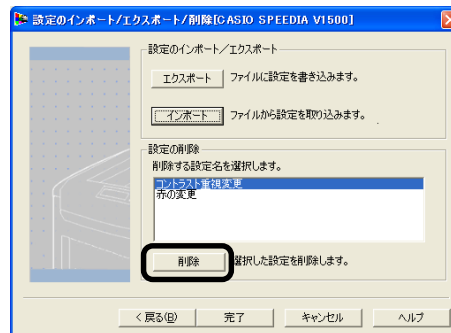
❷読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

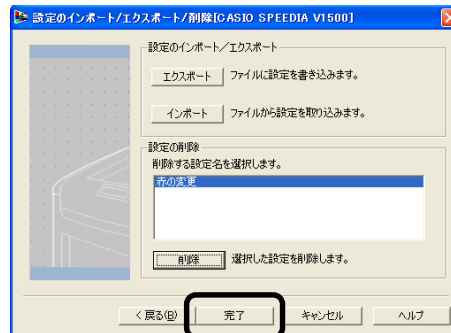
❹設定が読み込めたことを確認し、［完了］をクリックします。

カラー調整の設定を削除したい

不要になったカラー調整を削除できます。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、[削除]をクリックします。

❺ [はい]をクリックし、設定を削除します。

❻ 設定が削除されたことを確認し、[完了]をクリックします。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。プリンタに内蔵のカラーマッチングで利用できます。

ASICカラーマッチングのときだけ有効になります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブで[カラー(ユーザ指定)]を選択し、[黒の生成]から適当な項目を選択します。

黒の生成

・**自動**
印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。

・**CMYKトナーで生成**
イメージ中の黒の生成方法を指定します。

シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。

・**黒(K)トナーのみで生成**
黒トナーのみで黒を印刷します。

モノクロ(白黒)で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール(階調のある白黒)で印刷します。

メモ 以下の設定を行なうと、モノクロ(白黒)を高速(24ページ/分)に印刷することができます。

❶ アプリケーションを起動します。

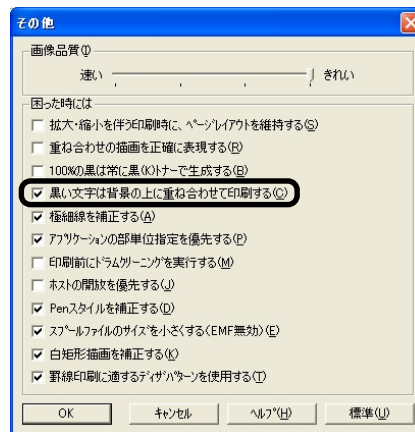
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[グレースケール]を選択します。

文字と背景の間の白すじをなくしたい(ブラックオーバープリント)

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ね合わせて印刷(オーバープリント)することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、WindowsXP/2000/Server2003でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、True Typeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合(トナー層厚として240%を超える場合)にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン50%、マゼンタ50%、イエロー50%の背景色の上に黒100%の文字を描画すると、トナー層厚は50+50+50+100=250%となり、240%を超えることになります。

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXPでは[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。
5. [黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する]にチェックを付けます。

色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、15ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

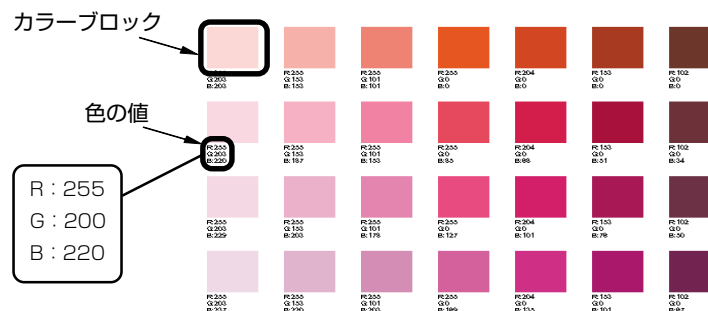
❶ [スタート]-[プログラム](Windows XPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[色見本印刷ユーティリティ]-[色見本印刷ユーティリティ]を選択します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ プリンタを選択します。

❹ [OK]または[印刷]をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。

(サンプル)

メモ カラーブロックの下に表示されるRGB値は、カラーブロックのR(赤)、G(緑)、B(青)の色の成分量(0~255)を表しています。

❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されているRGB値をメモします。

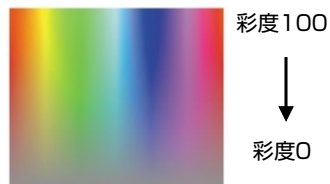
4
色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶[ファイル]メニューの[カスタム色見本]を選択します。

❷希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、[OK]をクリックします。

色相：色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

明度：濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

❸[ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹プリンタを選択します。

❺[OK]または[印刷]をクリックします。

プリンタから1ページ印刷されます。

❻色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶アプリケーションを起動します。

❷アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸印刷します。

アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

色ずれ補正を微調整したい

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。
プリンタは自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[C　イチズレ　ビチョウセイ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ 設定値のプラスは黒を基準として画像が下方向に調整されます。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

2 印刷します。

色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い(Highlight)・濃い(Dark)・中間(Mid-tone)の3か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

1 カラー調整パターンを印刷します。

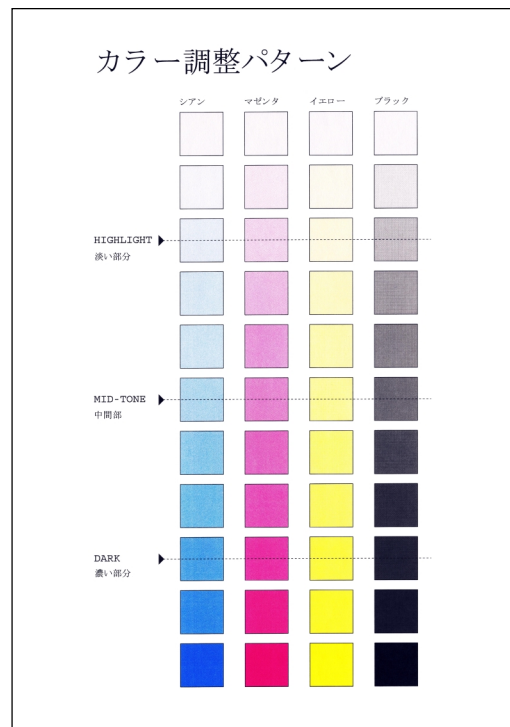
❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、[カラー　チョウセイ／パターン　インサツ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦11行、横4列で配置されていて、縦11行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT淡い部分]、[MID-TONE中間部]、[DARK濃い部分]とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横4列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック]と印刷されています。

2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ [C　HIGHLIGHT／XX]（XXは現在設定されている値）と表示されていることを確認します。表示されている場合は、❺に進みます。そうでない場合は、❷〜❹を実行します。

❷ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❸ 「設定／実行」スイッチを押します。

❹ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[C　HIGHLIGHT／XX]（XXは現在設定されている値）を表示します。

❺ 「設定／実行」スイッチを押します。

❻ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❼ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❽ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順1，2を繰り返してください。

5 プリンタメニューの使い方について

省電力モード(パワーセーブ)に入るまでの時間を変更したい

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

```
ハ゜ワーセーフ゛ イコウシ゛カン
60フン                *
```

「5フン」5分間データを受信しないと省電力モードになります。
「15フン」
「30フン」
* 「60フン」
「240フン」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

1. 「メニュー+」スイッチを数回押し、[システム コウセイ メニュー]を表示します。
2. 「設定/実行」スイッチを押します。
3. 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、[パワーセーブ イコウ ジカン]を表示します。
4. 「設定/実行」スイッチを押します。
5. 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、目的の値を表示します。
6. 「設定/実行」スイッチを押し、値の右側に[*]を付けます。
7. 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

メモ [メンテナンスメニュー]の[パワーセーブ キノウ]を[ムコウ]にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着ユニットを印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源をOFFにしてください。

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

❶ 「キャンセル」スイッチを2秒以上押して離します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

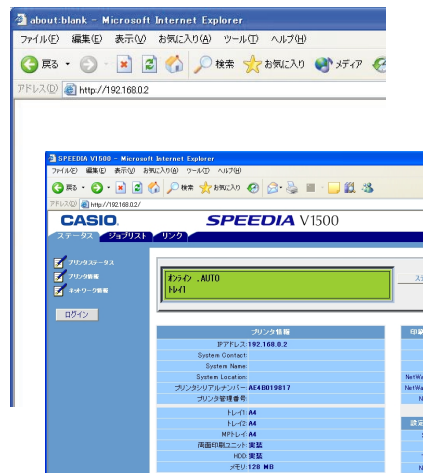
注
- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- [データ　クリアチュウ]が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

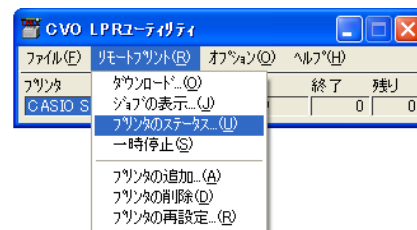
「プリンタステータス」画面で確認する

❶Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

「ステータスウインドウ」で確認する

「ステータスウィンドウ」でも、プリンタの状態を確認することができます。
詳しくは「ステータスウインドウを使います」(35ページ)。

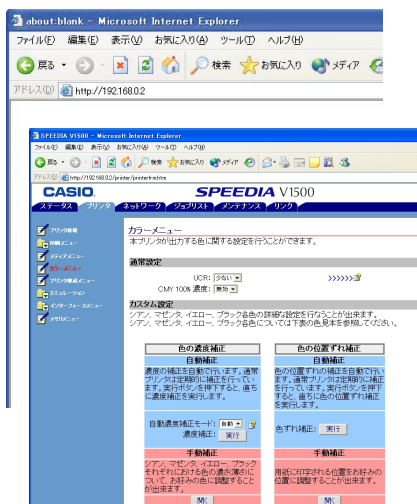
CVO LPRユーティリティを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶CVO LPRユーティリティを起動します。

❷対象のプリンタを選択します。
[リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス...]または[ジョブの表示...]を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

Webブラウザを使う場合

TCP/IPでネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Webブラウザを起動し、[アドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ [ログイン]をクリックし、[ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は、「イーサネットアドレスの下6桁」です。イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❸ 左のフレームから設定を変更したい項目をクリックします。

❹ 必要な変更をした後、[OK]をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

・A4用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ 「設定／実行」スイッチを押し、[PCL　フォント　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

フォント名が印刷されます。

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[セントロ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ソウホウコウ　セントロ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ムコウ]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❽ 電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編 24ページ)をご覧ください。

ECPを無効にするには

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[セントロ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ECP]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ムコウ]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❽ 電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編 24ページ)をご覧ください。

ハードディスク(オプション)を初期化したい

ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
ハードディスクは3つのパーティションに分割されています。ハードディスクをイニシャライズすると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

ハードディスクのパーティションには[PSE]、[PCL]、[キョウツウ]があります。

[PSE]
　未使用のエリアです。
[PCL]
　PCLモードのフォームを格納するエリアです。
[キョウツウ]
　「認証印刷」、「確認印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

・「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
・登録したフォーム
・エラーログ

操作パネルを使う場合

[ディスク　メンテナンス]は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで[DISK MAINTENANCE]の設定を[ENABLE]に変更する必要があります。詳しくは「プリンタのアドミニストレータメニュー一覧」(セットアップ編 50ページ)をご覧ください。

イニシャライズ

❶ ＋「メニュー+」スイッチを数回押し、[ディスク　メンテナンス]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー+」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[HDD　ショキカ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？ Y=ENTER / N=CANCEL]を表示します。

注 初期化を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。
「設定／実行」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❺ 「設定／実行」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ？ Y=ENTER / N=CANCEL]を表示します。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにイニシャライズが行われます。

❻ 「設定／実行」スイッチを押します。

❼ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。イニシャライズが行われます。

特定のパーティションのフォーマット

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[ディスク　メンテナンス]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[HDD　フォーマット]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のパーティションを表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL]を表示します。

注 **初期化を取り消すには、ここで「キャンセル」スイッチを押します。**
「設定／実行」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❼ 「設定／実行」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL]を表示します。

❽ 「設定／実行」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 **ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。**

❾ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

❿ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

ストレージデバイスマネージャを使う場合

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[管理者機能]を選択します。

❺ [現在のパスワード]に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化]をクリックします。

❼ 初期化する場合は　リストからHDDパーティションを選択し、[ディスク全体の初期化]をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの初期化]をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの使用用途]でパーティション種類を選択して[パーティションの初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[はい]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[はい]をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編24ページ)をご覧ください。

プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IPアドレスを設定してください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ [TCP/IP／ENABLE　＊]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP／DISABLE　＊]と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定／実行」スイッチを押します。

② 「メニュー+」スイッチを押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

③ 「設定／実行」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❹ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❺ 「設定／実行」スイッチを押します。

❻ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❼ 「設定／実行」スイッチを押し、次の桁に移動します。❻と❼を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❽ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹～❽を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❾ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

ハードディスク(オプション)やフラッシュメモリの空き容量を確認したい

ハードディスクやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

メモ 「ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、40ページをご覧ください。

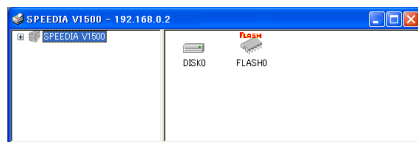
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [終了]をクリックします。

❹ [閉じる]をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[リソースを表示する]を選択します。

❻ ハードディスクの場合は[DISK]を、フラッシュメモリの場合は[FLASH0]を選択します。

注 ハードディスクが搭載されていない場合は、[DISK]は表示されません。

❼ [表示]メニューから[詳細]を選択します。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	2000576512	2000543744	HDD0	PCL
ボリューム 1:	5001453568	5000052736	HDD0	COMMON
ボリューム %dis...	3000868864	3000442880	HDD0	PS

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量がByte単位で表示されます。

注 フラッシュメモリの場合は、[PSE]と[MIX]が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

ハードディスク(オプション)やフラッシュメモリの空き容量を確保したい

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

ハードディスクの場合

ハードディスクの不要なジョブを削除する

「確認印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、ハードディスクの「キョウツウ」パーティションに残ったままになっていると、ハードディスクの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい(確認印刷)」(61ページ)、「パスワードを入力してから印刷したい(認証印刷)」(63ページ)、「ジョブを保存して繰り返し使用したい」(66ページ)をご覧ください。

注 「キョウツウ」パーティションの空き容量が確保されます。「PSE」および「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

ハードディスクのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

注 パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
・登録したフォーム
・エラーログ

操作パネルを使う場合

注 [ディスク　メンテナンス]は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで[DISK　MAINTENANCE]の設定を[ENABLE]に変更する必要があります。詳しくは「プリンタのアドミニストレータメニュー一覧」(セットアップ編 50ページ)をご覧ください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[ディスク　メンテナンス]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[パーティション　サイズ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、[PCL／キョウツウ／PSE　20%／79%／1%](工場出荷時)を表示します。

❺ 「設定／実行」スイッチを押し、PCLパーティションサイズを点滅させます。

❻ サイズを変更しない場合は❼へ進みます。

サイズを変更する場合は、＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ PCLパーティションサイズを変更すると、キョウツウパーティションサイズも変わります。

❼ 「設定／実行」スイッチを押し、キョウツウパーティションサイズを点滅させます。

❽ サイズを変更しない場合は❾へ進みます。

サイズを変更する場合は、＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ キョウツウパーティションサイズを変更すると、PSEパーティションサイズも変わります。

❾ 「設定／実行」スイッチを押し、PSEパーティションサイズを点滅させます。

❿ サイズを変更しない場合は⓫へ進みます。

サイズを変更する場合は、＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、目的のサイズを表示します。

メモ PSEパーティションサイズを変更すると、PCLパーティションサイズも変わります。

⓫ 「設定／実行」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？ Y=ENTER／N=CANCEL]を表示します。

注 サイズの変更を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。

「設定／実行」スイッチを押すと、サイズの変更を取り消すことはできません。

⓬ 「設定／実行」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ？ Y=ENTER／N=CANCEL]を表示します。

⓭ 「設定／実行」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

⓮ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

⓯ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

ストレージデバイスマネージャを使う場合

メモ 「ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、40ページをご覧ください。

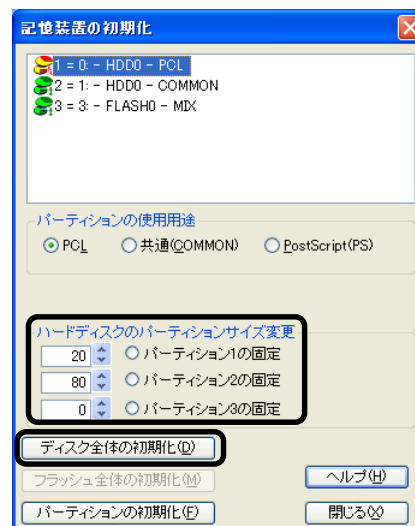
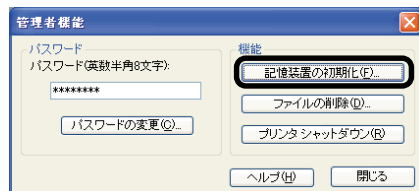
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。[プリンタ]メニューから[管理者機能]を選択します。

❺ [現在のパスワード]に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化]をクリックします。

❼ リストからHDDパーティションを選択し、[ハードディスクのパーティションサイズ変更]でサイズを変更し、[ディスク全体の初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[OK]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[はい]をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編24ページ)をご覧ください。

ハードディスク(オプション)の初期化をします

ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
ハードディスクの初期化を行う場合は、「ハードディスク(オプション)を初期化したい」(110ページ)をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

操作パネルを使う場合

[ディスク　メンテナンス]は工場出荷時の設定では表示されません。アドミニストレータメニューで[DISK MAINTENANCE]の設定を[ENABLE]に変更する必要があります。詳しくは「プリンタのアドミニストレータメニュー一覧」(セットアップ編 50ページ)をご覧ください。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[メモリ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定／実行」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは 「メニュー−」スイッチを数回押し、[FLASHメモリ　ショキカ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定／実行」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？　Y=ENTER / N=CANCEL]を表示します。

注 初期化を取り消すには、ここで 「キャンセル」スイッチを押します。
「設定／実行」スイッチを押すと、初期化を取り消すことはできません。

❺ 「設定／実行」スイッチを押し、[スグニ　ジッコウシマスカ？ Y=ENTER / N=CANCEL]を表示します。

❻ 「設定／実行」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 「キャンセル」スイッチを押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときに初期化が行われます。

❼ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

ストレージデバイスマネージャを使う場合

メモ 「ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、40ページをご覧ください。

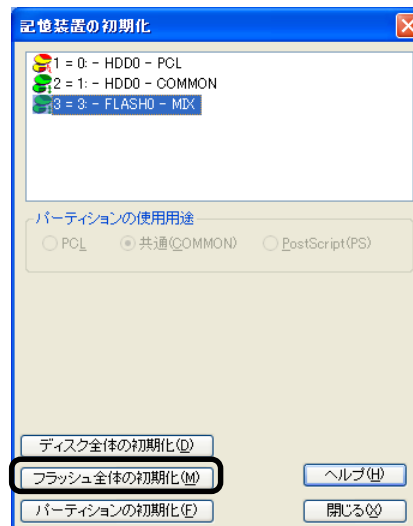
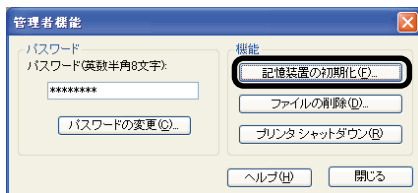
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[CASIO SPEEDIA V1500]-[ストレージデバイスマネージャ]-[ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。[プリンタ]メニューから[管理者機能]を選択します。

❺ [現在のパスワード]に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化]をクリックします。

❼ リストからFlashパーティションを選択し、[フラッシュ全体の初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[はい]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[OK]をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編24ページ)をご覧ください。

6 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、ネットワークの設定情報(Network Information)で確認できます。(133ページ参照)
設定値を変更するには、TELNET, Webブラウザを使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
TCP/IP Protocol	TCP/IP	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	192.168.100.254	ゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
Auto IP Address	サーバを使用しないアドレス解決	ENABLE (自動設定する) DISABLE (自動設定しない)	サーバを使用しないでIPアドレスを取得する機能の使用／非使用を設定します。
DNS Server (Pri.)	DNSサーバアドレス(プライマリ)	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス(セカンダリ)	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
root Password	パスワード設定	イーサネットアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
Network PnP	検出機能	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	ネットワークPlug&Play機能の 使用／非使用を設定します。
Rendez-vous	機能検出	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	Rendezvous機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	「ETHER」+「イーサネットアドレス下6桁」	ネットワークPlug&Play機能とRendezvous機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
SysContact	System Contact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysName	System Name	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysLocation	System Location	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
−	プリンタ管理番号	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
NetWare Protocol	NetWare	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetWareの使用／非使用を設定します。
Protocol	通信プロトコル	IPX TCP/IP	NetWareを動作させるプロトコルをIPXかTCP/IPに設定します。
Frame Type	フレームタイプ	AUTO ETHER-II (ETHERNET-II) 802.2 (IEEE802.2) 802.3 (IEEE802.3) SNAP(SNAP)	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
PrinterName	プリンタ名	「ETHER」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-prn1」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
NetWare Mode	印刷モード	RPRINTER (リモートプリンタ) PSERVER (プリントサーバ)	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
IP NDS Tree	ツリー	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP NDS Context	コンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Print Server Name	プリントサーバ名	「ETHER」+「イーサネットアドレス下6桁」	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Password	−	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Job Polling Time	−	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IPX NDS Tree	ツリー	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
IPX NDS Context	コンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Print Server Name	プリントサーバ名	「ETHER」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Password	ファイルサーバのログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Job Polling Time	ジョブポーリング時間	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Bindery Mode	バインダリモード	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWareのバージョンが、6.0/5.0/4.1のバインダリネットワーク、または3.12へ接続するときには「Enable」、6.0/5.0/4.1のNDSで使用するときには「Disable」を設定します。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX File Server #1-8	ファイルサーバ名	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
IPX PrintServer #1-8	プリントサーバ名	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX JobTimeout	ジョブタイムアウト	4秒 〜 10秒 〜 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。通常は初期設定で使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルからの印刷がなかなか始まらなくなります。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
NetBEUI Protocol	NetBEUI	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	NetBEUIの使用／非使用を設定します。
Computer Name	コンピュータ名	「ETHER」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNet-BEUI上で識別されます。Windowsであればネットワークコンピュータ中のPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*1
Workgroup Name	ワークグループ名	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	EthernetBoard FastEther8100e	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。
WINS Server (Pri.)	WINSサーバ（プライマリ）	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ(コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ)を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ(コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ)を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	なし	WINSのScopeIDを設定します。1〜223文字の英数字です。

*1: 表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機　能
SETUP	Config.ini	IPアドレスの設定変更ができます。 このファイル中のIPアドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタのIPアドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつWeb Pageを起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設計値を表示するファイルですから、Report.txtとは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定した値を表示するファイルですから、Status.txtとは内容が異なる場合があります。

・本プリンタのMaster Browser機能は、Workgroup名が「Print Server」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
・SPEEDIA V1500以外の機器のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。(その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。)
・本プリンタのMaster Browser機能で管理できるプリンタは最大8台です。
・NetBEUIプロトコルでは、他のユーザ(他のプロトコルを含む)からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	public	プリンタTRAPのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	ENABLE (有効にする) DISABLE (有効にしない)	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	プリンタTrapアドレス設定 #1-5	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	ENABLE (有効にする) DISABLE (有効にしない)	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Printer Reboot Trap	IPX プリンタ再起動	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Receive Illegal Trap	IPX 不正Trap受信	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX プリンタTrapアドレス設定	00000000:000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

SMTP（E-Mail）

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
SMTP Transmit	SMTP送信	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP server name	SMTPサーバ	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP port number	SMTPポート番号	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail address	プリンタEmail アドレス	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。
Reply-To address	返信先Emailアドレス	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Destination address 1-5	Emailアドレス 1-5	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Notify mode 1-5	障害通知方法	EVENT PERIOD	障害を通知する方法を設定します。
Check time 1-5	メール通知間隔	1～ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consum-able warning Event 1-5	消耗品警告	OFF No Wait ～ 48H 45M	プリンタの消耗品(トナーセット、ドラムセット)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable warning Period 1-5	消耗品警告	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーセット、ドラムセット)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

目次へ 戻る 前へ 次へ 検索する

網かけ部は初期値です。

項　目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
Consum-able Error Event 1-5	消耗品 エラー	OFF No Wait ～ 48H 45M	プリンタの消耗品(トナーセット、ドラムセット)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Period 1-5	消耗品 エラー	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーセット、ドラムセット)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット警告	OFF No Wait ～ 2H 0M～ 48H 45M	メンテナンスユニット(定着ユニット、転写ベルトユニット)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット警告	ON OFF	メンテナンスユニット(定着ユニット、転写ベルトユニット)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Error Event 1-5	メンテナンスユニットエラー	OFF No Wait ～ 48H 45M	メンテナンスユニット(定着ユニット、転写ベルトユニット)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Maintenance Error Period 1-5	メンテナンスユニットエラー	ON OFF	メンテナンスユニット(定着ユニット、転写ベルトユニット)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Event 1-5	用紙の補充警告	OFF No Wait ～ 0H 15M～ 48H 45M	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Period 1-5	用紙の補充警告	ON OFF	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
Paper Error Event 1-5	用紙の補充エラー	OFF No Wait ～ 48H 45M	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Period 1-5	用紙の補充エラー	ON OFF	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Warning Event 1-5	印刷中の用紙　警告	OFF No Wait ～ 48H 45M	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Warning Period 1-5	印刷中の用紙　警告	ON OFF	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Event 1-5	印刷中の用紙　エラー	OFF No Wait ～ 2H 0M ～ 48H 45M	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Period 1-5	印刷中の用紙　エラー	ON OFF	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/ Flash Memory Event 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	OFF No Wait ～ 48H 45M	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/ Flash Memory Period 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	ON OFF	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
Print Result Warning Event1-5	印刷の結果警告	OFF No Wait ～ 48H 45M	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Event1-5	印刷の結果警告	ON OFF	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event1-5	印刷の結果エラー	OFF No Wait ～ 2H 0M ～ 48H 45M	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果エラー	ON OFF	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warnnig Event 1-5	インタフェース異常警告	OFF No Wait ～ 48H 45M	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warnnig Period 1-5	インタフェース異常警告	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インタフェース異常エラー	OFF No Wait ～ 2H 0M ～ 48H 45M	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インタフェース異常エラー	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
Other Error Event 1-5	その他	OFF No Wait ～ 2H 0M ～ 48H 45M	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	ON OFF	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Additional info Printer Model	付加情報設定 Printer Model	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Additional info Network Interface	付加情報設定 Network Interface	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Additional info Serial Number	付加情報設定 Printer Serial Numger	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。
Additional info Asset Number	付加情報設定 Printer Asset Number	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Additional info System Name	付加情報設定 System Name	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemNameを含めるかどうかを設定します。
Additional info System Location	付加情報設定 System Location	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocationを含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
Additional Info IP Address	付加情報設定 IP Address	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、IPアドレスを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Ethernet Address	付加情報設定 Ethernet Address	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、イーサネットアドレスを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Computer Name	付加情報設定 Computer Name	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Printer URL	付加情報設定 Printer URL	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのURLを含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	Comment Line 1-4	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は63文字まで入

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項目 TELNET	項目 Webブラウザ	設定値	機能説明
Web Service	Web(IPP)サービス	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web(IPP) Port Number	Web(IPP)ポート番号	1 ～ 80 ～ 65535	プリンタのWEBページにアクセスするためのポート番号を設定します。
Telnet Service	Telnetサービス	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
FTP Service	FTPサービス	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
SNMP Service	SNMPサービス	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE(使用する)でお使いください。
LAN Scale	LAN	NORMAL(普通) SMALL(小型)	Normal(普通):通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小型):コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
DefaultTTL	−	0 〜 255	IPパケット生存値(TTL値)を設定します。この値は通常変更する必要はありません。
−	オペパネのロック	ロック解除 ロック	オペレータパネルの殆どの操作を禁止させることが出来ます。
−	HEXダンプモード	OFF ON	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
IP Filtering	IPフィルタリング	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Filtering range #1-10	IPアドレスの範囲#1-10	なし-なし	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。 単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲(「開始アドレス」と「終了アドレス」)を設定してください。0.0.0.0は入力できません。
Start Address	開始アドレス	0.0.0.0	
End Address	終了アドレス	0.0.0.0	
range #1-10 Printing	印刷 #1-10	ENABLE(許可する) DISABLE(許可しない)	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
range #1-10 Configuration	設定 #1-10	ENABLE(許可する) DISABLE(許可しない)	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	0.0.0.0	管理者のIPアドレスが自動で設定されます。このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

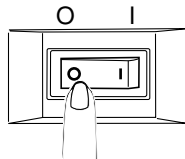
Job List

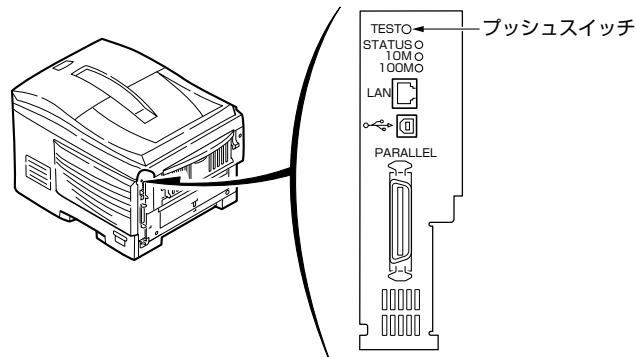
網かけ部は初期値です。

項目		設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ		
−	ジョブキュー表示項目設定	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

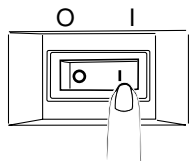
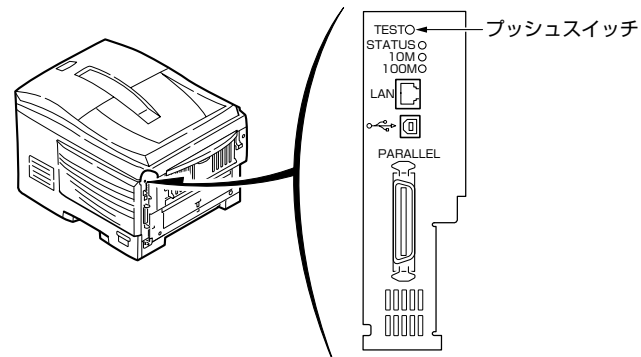
ネットワーク機能を初期化します

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編 24ページ)をご覧ください。

2 先端の細い道具（ボールペンなど）を使って、プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源をONにし、操作パネル上に［オンライン］が表示されたら、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷します

1 プリンタの電源をONにし、[オンライン]になったことを確認します。

2 先端の細い道具(ボールペンなど)を使って、プッシュスイッチを３秒間以上押し続けてから、離します。

最初にプリンタのメニューマップが2枚印刷され、続いてネットワークの設定情報(Network Information)が4枚印刷されます。

（例） イーサネットアドレス（MAC address）

Network Information

System Information

Serial Number	j Y A
Asset Number	
System Contact	
System Name	
System Location	

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	02.15
		OkiWebRemote	O2.02
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting			
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Full)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	233	
	Packets Transmitted	416	
	Total Packets Received		
	Unsendable Packets		
	Bad Packets Received		
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		
EtherTalk Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL
IP Address	192.168.0.2
Subnet Mask	255.255.0.0
Default Gateway	0.0.0.0
Web Address	http://192.168.0.2
WEB(IPP) Port Number	80
DNS Server (Primary)	0.0.0.0
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0
DefaultTTL	255

Auto Discovery
Windows(Network Plug and Play)
Macintosh(Rendezvous)
Printer Name(Printer is identified by this name.)
link-local Address

If your computer can not connect this printer with the browser, s
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP addres
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the br
If you will access the local address,set the p

NetBEUI Configuration

Computer Name	ML849C9B
Workgroup Name	PrintServer
Comment	EthernetBoard MLETB12
Master Browser	ML849C9B
WINS Server Name(Primary)	0.0.0.0
WINS Server Name(Secondary)	0.0.0.0
WINS Registration Status	Registration is not performed.
Scope ID	

IPP Configuration

To print using IPP use the following URIs
http://192.168.0.2/ipp
http://192.168.0.2:631/ipp
http://192.168.0.2/ipp/lp
http://192.168.0.2:631/ipp/lp

SNMP Trap Configuration

Printer Trap Community Name public

Trap Destination	Trap Enable/Disable	Address
Address 1	Disable	0.0.0.0
Address 2	Disable	0.0.0.0
Address 3	Disable	0.0.0.0
Address 4	Disable	0.0.0.0
Address 5	Disable	0.0.0.0
IPX	Disable	00000000:000000000000

Trap Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5	IPX
Printer Reboot	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Receive Illegal Packet	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Online	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Offline	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Out	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Paper Jam	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Cover Open	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
Printer Error	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

(N/A = Not Available)

Email Setting Configuration

Email Receive Settings

SMTP Receive	Disable
POP3 Protocol	Disable
POP Server Name	
POP Account	
POP Password	
POP Receive Interval	OFF
POP Port Number	110
APOP Support	NO

Email Transmit Settings

SMTP Transmit	Enable
SMTP Server	mailsrv.okidata.com
Printer E-mail Address	microline@okidata.com
Reply-To Address	prtadmin@okidata.com
SMTP Port Number	25

Email Recipients

Email Address 1	user1@okidata.com
Email Address 2	
Email Address 3	
Email Address 4	
Email Address 5	

Trouble Report Assignments	Address1	Address2	Address3	Address4	Address5
Consumable Warning	Available	Available	Available	Available	Available
Consumable Error	Available	Available	Available	Available	Available
Maintenance Unit Warning	Available	Av			
Maintenance Unit Error	Available	Av			
Paper Supply Warning	Available	Av			
Paper Supply Error	Available	Av			
Printing Paper Warning	N/A				
Printing Paper Error	Available	Av			
Flash Memory Warning	Available				
Print Result Warning	Available				
Print Result Error	Available	Av			
Interface Warning	N/A				
Interface Error	Available	Av			
Other Error	Available	Av			

Email Comment
Comment Line 1 :
Comment Line 2 :
Comment Line 3 :
Comment Line 4 :

NetWare Configuration

Network No	2222222C
Printer Name	ML849C9B-prn1
NetWare Mode	Queue Server Mode (Print server + Bindery/NDS + IPX)

P-Server Mode

Print Server Name	ML849C9B
Password	
Job Polling Rate	4 Sec
Bindery Mode	Enable
NDS Mode	
Tree Name	
Context Name	

	Status	Server Name
File Server1		
File Server2		
File Server3		
File Server4		
File Server5		
File Server6		
File Server7		
File Server8		

R-Printer Mode

Job Timeout 10 Sec

	Status	Server Name
Print Server 1		
Print Server 2		
Print Server 3		
Print Server 4		
Print Server 5		
Print Server 6		
Print Server 7		
Print Server 8		

EtherTalk Configuration

Printer Name	MICROLINE 5400
Type Name	LaserWriter
Zone Name	*
Address	65280
Node	170

Maintenance

Service Option
If Web and Telnet Service is disable and Operator Panel locked, product configuration is not available.

Web/IPP Service	Enable
Telnet Service	Enable
FTP Service	Enable
SNMP Service	Enable

Operator Panel Lockout Lock printer's operator panel to prevent menu changes Enable

LAN scale Setting NORMAL
Usually set "NORMAL".
If printer connect to small LAN, set "SMALL". Then printer network connection is much more efficient.

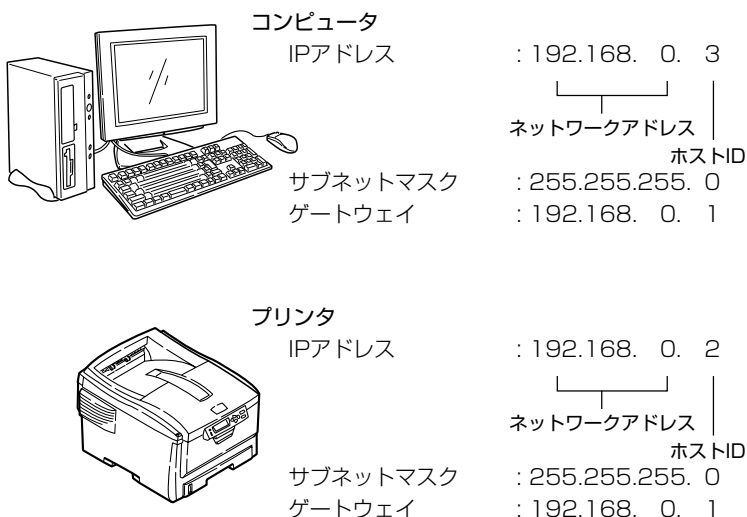
Network Chip Check	OK
Flash ROM Check	OK

IPアドレスの設定

IPアドレスとは…

TCP/IPプロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

（例）

プリンタ
IPアドレス　: 192.168.　0.　2
ネットワークアドレス
ホストID
サブネットマスク　: 255.255.255.　0
ゲートウェイ　: 192.168.　0.　1

IPアドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3桁の数字が4つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホストIDといいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホストIDは、どの機器とも重複しないような値で、1～254の間で設定します。
また、IPアドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータのIPアドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータのIPアドレス

お手元のコンピュータに設定されているIPアドレスを確認しましょう。

コンピュータのIPアドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかやDHCPなどのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピュータは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ（ADSLルータやISDNルータ）にはDHCPサーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得しているIPアドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

❶ Windowsを起動します。

❷ コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を選択します。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。

〈WindowsMeの場合〉
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。

〈Windows98の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。

〈Windows2000/Server2003の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。

❸ 〈WindowsXP/Me/2000/Server2003の場合〉
キーボードから[ipconfig]と入力し、[Enter]キーを押します。

〈Windows98の場合〉
キーボードから[winipcfg]と入力し、[Enter]キーを押します。

現在設定されているIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

(WindowsXPの場合)

プリンタのIPアドレスを確認します

現在、プリンタにどんなIPアドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷し、IPアドレスを確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)の詳細は133ページをご覧ください。

Network Information

System Information

Serial Number	j Y A
Asset Number	
System Contact	
System Name	
System Location	

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	02.15
		OkiWebRemote	O2.02
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting	Auto Negotiation		
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Full)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	233	
	Packets Transmitted	416	
	Total Packets Received	530	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		
EtherTalk Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL		
		DHCP/BOOTP	Disable
		RARP	Disable
		Non Server Address Resolution	Disable
IP Address	192.168.0.2		
Subnet Mask	255.255.0.0		
Default Gateway	0.0.0.0		
Web Address	http://192.168.0.2		
WEB(IPP) Port Number	80		
DNS Server (Primary)	0.0.0.0		
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0		
DefaultTTL	255		

Auto Discovery

Windows(Network Plug and Play)	Enable
Macintosh(Rendezvous)	Enable
Printer Name(Printer is identified by this name.)	ML849C9B
link-local Address	169.254.100.148

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 2 .)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.2
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

プリンタのIPアドレスを設定します

ネットワークの環境に応じて、プリンタにIPアドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用します。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合

プリンタは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。
現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてWindowsXPの場合

プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。つまり「ネットワークPlug＆Play」が使用できる設定になって、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。WindowsXPも標準で「ネットワークPlug＆Play」機能を搭載しています。そのため、ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなくても、ネットワークPlug＆Play機能を使用し、お互いに通信して自動的にIPアドレスを取得します。
現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

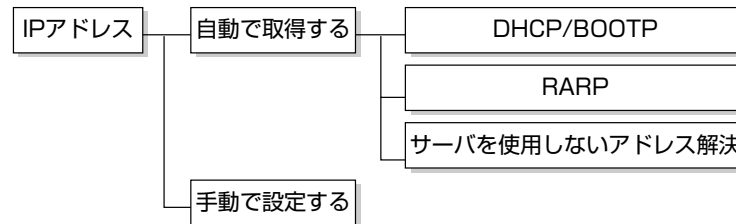
(2) IPアドレスを手動で設定します。

・**ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められたIPアドレスを指定されたなど、(1)に当てはまらない場合**

プリンタに決められたIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスは、プリンタの操作パネルやTELNETなどで設定できます。

設定の詳細は、「TELNET」(36ページ)、「プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい」(113ページ)をご覧ください。

IPアドレス設定のしくみ(参考)

IPアドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。
Webブラウザ、telnetで設定ができます。

・プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「DISABLE」に設定されています。
・IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　: SPEEDIA V1500
プリンタのIPアドレス : 192.168.0.2
Webブラウザ　　　　: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

起動と設定方法

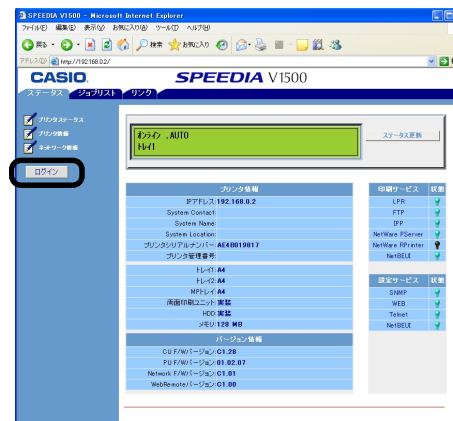
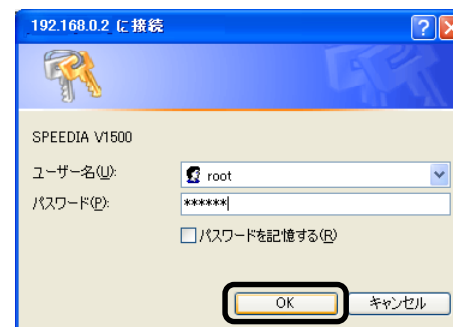
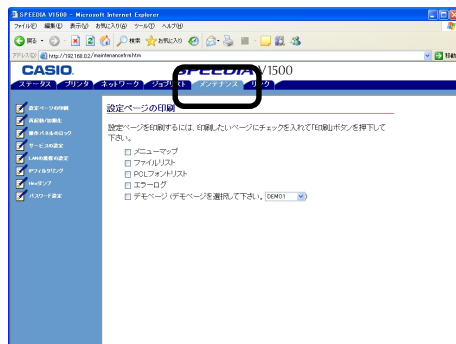
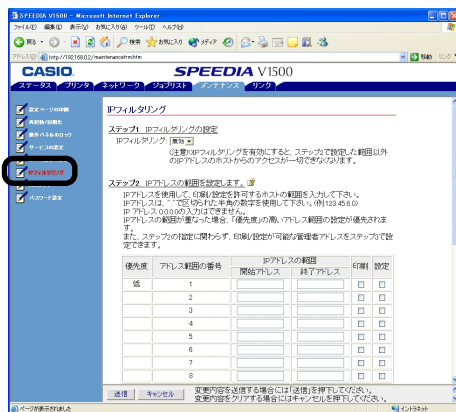
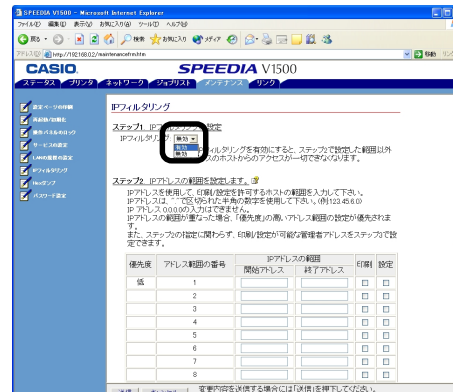
❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

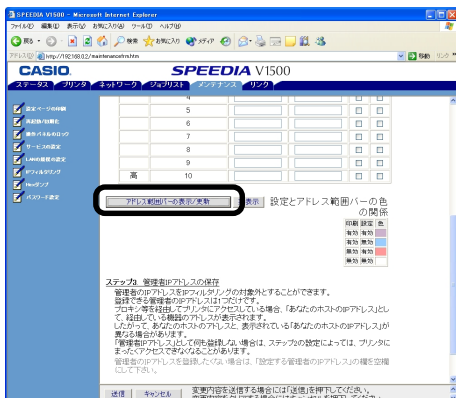
❸ [ログイン]をクリックします。

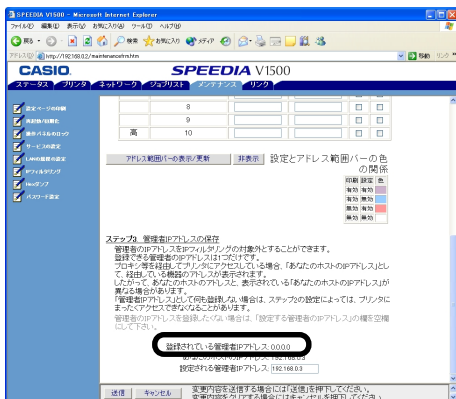
❹ [ユーザ名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
・パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❺「メンテナンス」タブをクリックします。

❻ [IPフィルタリング]をクリックします。

❼「ステップ1」で、「IPフィルタリングの設定」を[有効]にします。

注 IP フィルタリングを「有効」にすると、「ステップ 2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

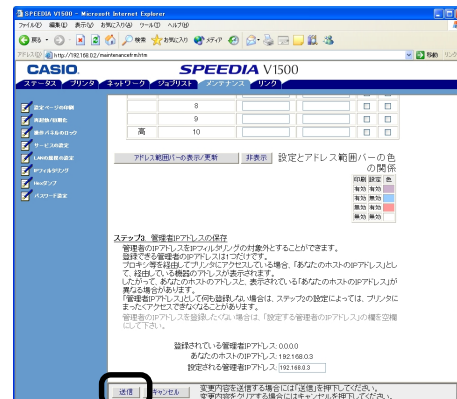
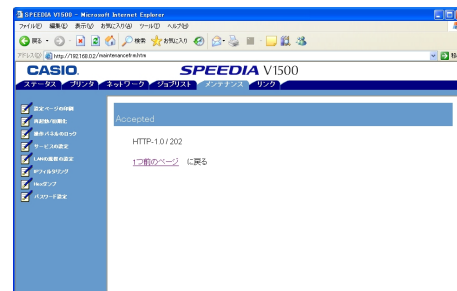
❽「ステップ2」で、IPアドレスの範囲を設定します。

注
- IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IPアドレスは、"."で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
- IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

❾［アドレス範囲バーの表示/更新］ボタンをクリックします。

IPアドレスの範囲を、修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示/更新］をクリックしてください。

❿「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を設定します。

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「Step2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

・プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
・「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
・管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

⓫「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、［Accepted］が表示されます。

メール送信機能(SMTP)を使います

メール送信機能(SMTP)を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。
Webブラウザ、TELNETで設定ができます。
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

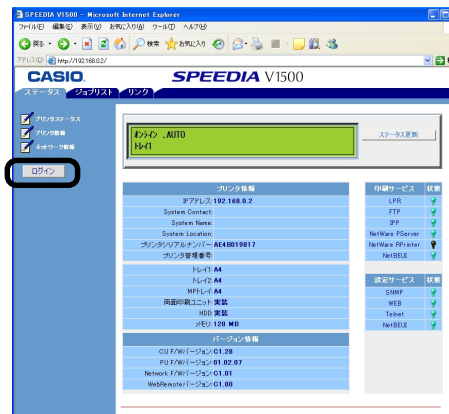
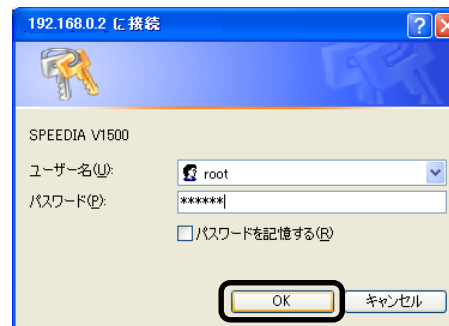
プリンタ	：SPEEDIA V1500
プリンタのIPアドレス	：192.168.0.2
Webブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

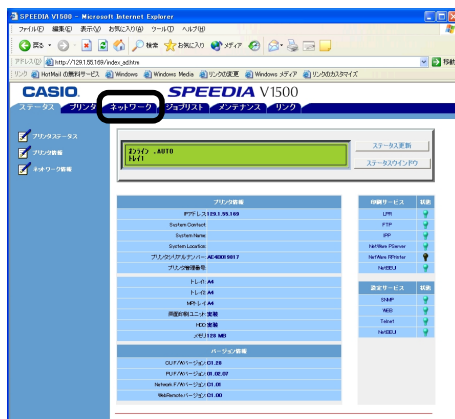
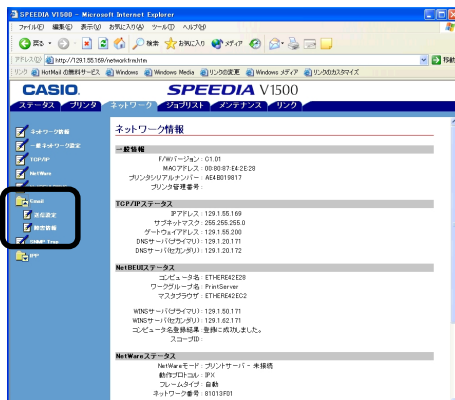
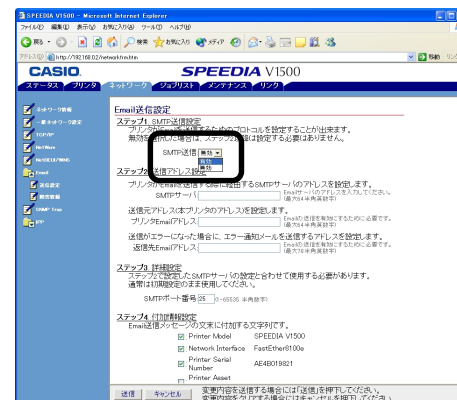
電子メール送信の設定をします

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

メモ イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❺ [ネットワーク]タブをクリックします。

❻ [Email]-[送信設定]をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を[有効]にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

③ 「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

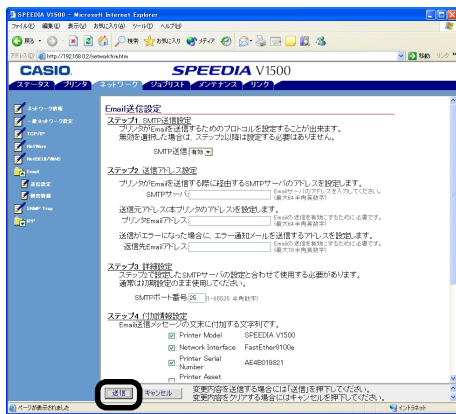
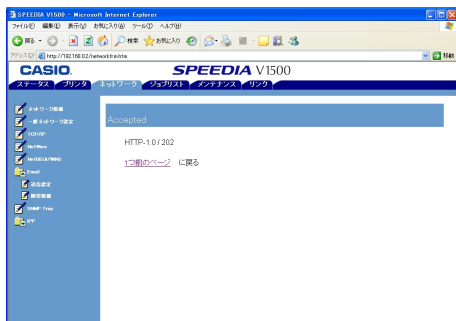
・「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
・メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾「ステップ3」で、「SMTPポート番号」を設定します。お使いのSMTPサーバの設定に合わせてください。
通常は初期設定のままで使用します。

⑩「ステップ4」でメールメッセージの文末に付加される情報を設定します。

① 必要な情報にチェックを付けます。

② [Comment line 1]～[Comment line 4]に自由に文字列を入力します。メモなどにご活用ください。

⑪「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

定期的な通知を設定したい場合は、「発生した障害を定期的に通知します」へ進みます。エラーが発生した時点でメールを送信したい場合は、「障害が発生したことを通知します」(147ページ)へ進みます。

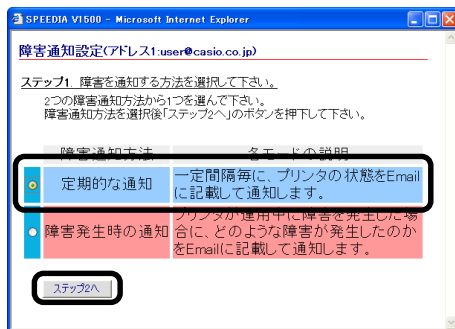
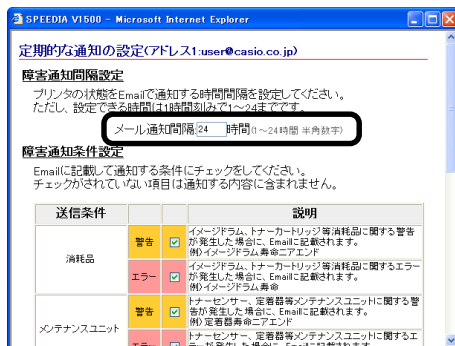
発生した障害を定期的に通知します

❶ [Email]-[障害情報]をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの[設定]ボタンをクリックします。

[コピー]ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

メモ　期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a. ［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

送信条件	障害レベル	初期設定値 定期的な通知	アドレス1 定期的な通知	アドレス2 定期的な通知	アドレス3 定期的な通知	アドレス4 定期的な通知	アドレス5 定期的な通知
消耗品	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
メンテナンスユニット	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
用紙の補充	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
印刷中の用紙	警告	-	-	-	-	-	-
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
ハードディスク、フラッシュメモリ	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
印刷の結果	警告	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
インタフェースの異常	警告	-	-	-	-	-	-
	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎
その他	エラー	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎	24時間毎

送信条件	障害レベル	初期設定値 障害発生時の通知	アドレス1 障害発生時の通知	アドレス2 障害発生時の通知	アドレス3 障害発生時の通知	アドレス4 障害発生時の通知	アドレス5 障害発生時の通知
消耗品	警告	即時	即時	即時	即時	即時	即時
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
メンテナンスユニット	警告	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
用紙の補充	警告	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後	15分後
	エラー	即時	即時	即時	即時	即時	即時
印刷中の用紙	警告	-	-	-	-	-	-
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
ハードディスク、フラッシュメモリ	警告	-	-	-	-	-	-
印刷の結果	警告	-	-	-	-	-	-
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
インタフェースの異常	警告	-	-	-	-	-	-
	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後
その他	エラー	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後	2時間後

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

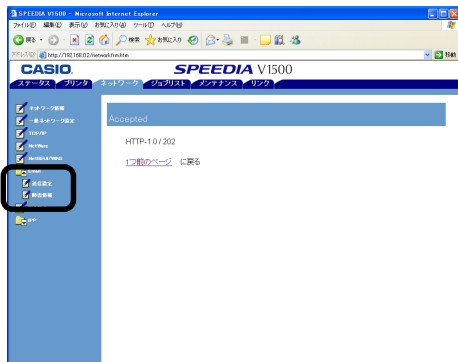
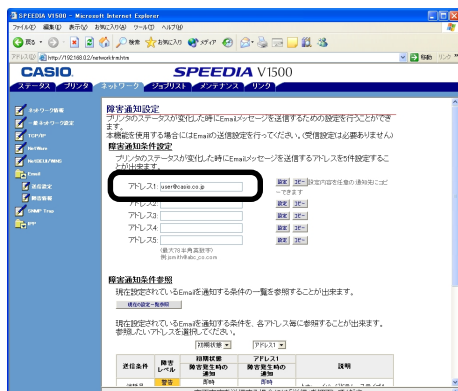
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

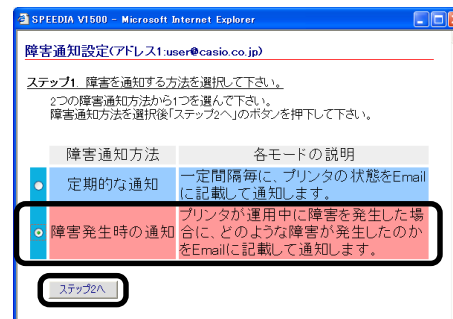
❾「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

障害が発生したことを通知します

❶ [Email]-[障害情報]をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの[設定]ボタンをクリックします。

メモ [コピー]ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺ [障害通知条件設定]で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

メモ
・遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
・遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼ [OK]をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合
a. [現在の設定一覧参照]ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

SNMPを使います

SPEEDIA V1500は、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、SPEEDIA V1500はMIB-IIおよびプライベートMIBに対応しています。

7 UNIXで使用する場合

LPDプロトコルを利用します

TCP/IPのLPDプロトコル(lpr, lpコマンド)を使用して印刷する方法を説明します。
lpr, lpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

LPDについて

LPD(Line Printer Daemon)はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタの論理プリンタはlpです。

論理プリンタ	機　能
lp	PCL形式のファイルを印刷する場合

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　: SPEEDIA V1500
IPアドレス　　　　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNETを使用します。

❶ UNIXにルートでログインします。

❷ arpコマンドでプリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNETでプリンタにログインします。

「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」(初期値)です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard FastEther8100e Ver 01.09 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message         Value   (level.1)
---------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup NetBEUI
  5 : Setup printer trap
  6 : Setup SMTP(E-Mail)
  7 : Maintenance
  8 : Display status
  9 : IP Filtering Setup
```

```
 97 : Network Reset
 98 : Set default(Network)
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message        Value    (level.2)
--------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol      : ENABLE
  2 : IP Address           : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask          : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway      : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol        : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol  : DISABLE
  7 : Auto IP Address      : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)     : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)     : 0.0.0.0
 10 : root Password        : "******"
 11 : Auto Discovery Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ログアウトします。

❼新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編 24ページ)をご覧ください。

UNIXを設定し印刷します

Sun OS4.X.Xの場合

・スーパーバイザーの権限が必要です。
・SunOS4.1.3を例にしています。

❶UNIXに管理者(root)でログインします。

❷/etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 CV
```

❸pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping CV
```

❹/etc/printcapファイルにプリンタを登録します。

```
CV_lp:¥
  :lp=:rm=CV:rp=lp:¥
  :sd=/usr/spool/CV_lp:¥
  :lf=/usr/spool/CV_lp/CV_lp_errs:
```

〈各変数の意味〉

lp ：プリンタを接続するデバイスファイル名。指定する必要はありません。
rm：リモートプリンタのホスト名。
手順❷で登録したホスト名を入力します。
rp ：リモートプリンタのプリンタ名。プリンタの論理プリンタ名で通常はlpを選択します。
sd：スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。
lf ：エラーログファイル。絶対パスで指定します。

❺手順❹で登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/CV_lp
# touch /usr/spool/CV_lp/CV_lp_errs
# chown -R daemon /usr/spool/CV_lp
# chgrp -R daemon /usr/spool/ CV_lp
```

❻ lpd（プリンタデーモン）が起動しているかどうかを調べます。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザーのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

❼ 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart CV_lp
```

❽ 印刷します。

```
# lpr -PCV_lp〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# lprm -PCV_lp〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

ショートフォーマットの場合

```
# lpq -PCV_lp
```

ロングフォーマットの場合

```
# lpq -l -PCV_lp
```

・lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本プリンタ独自のフォーマットです。
・UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.6および8の場合

・スーパーバイザーの権限が必要です。
・OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
・Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 CV
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping CV
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p CV_lp -m jstandard -o protocol=bsd -o dest=CV:lp -v /dev/null
```

「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept CV_lp
#/usr/bin/enable CV_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d CV_lp〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d CV_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel CV_lp-〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p CV_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.3X～2.5Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- Sun Solaris2.4を例にしています。
- OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 CV
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping CV
```

❹ プリントスケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

❺ プリントサーバを登録します。

```
# /usr/sbin/lpsystem -R0 -t bsd CV
```

❻ プリントキューを設定します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -p CV_lp -s CV!lp
```

- cshをご使用の場合は、「!」の代わりに「¥!」または「/!」としてください。
- 「!」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- lpadminの使い方はお使いのSun OSのマニュアルをご覧ください。

❼ プリントスケジューラを起動します。

```
#/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

❽ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept CV_lp
#/usr/bin/enable CV_lp
```

❾ 印刷します。

```
# lp -d CV_lp〈ファイル名〉
```

❿ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel CV_lp-〈ジョブ番号〉
```

⓫ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p CV_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.Xおよび10.Xの場合

・スーパーバイザーの権限が必要です。
・HP-UX9.03を例にしています。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 CV
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping CV
```

❹ 使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.confファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon -i
```

③ inetdを再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pCV_lp -mrmodel -ormCV -orplp -ocmrcmodel -
osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

「-p」に続く「CV_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「CV」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept CV_lp
#/usr/bin/enable CV_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d CV_lp〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel CV_lp-〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p CV_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

AIX4.1.5および4.3.3の場合

注 スーパーバイザーの権限が必要です。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 CV
```

❸ pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping CV
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# ruser -a -p CV
```

❺ リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

❻ smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

① smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

② 「接続タイプ」から「remote」(リモートホストに接続されたプリンタ)を選択します。

③ 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

④ 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します(下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください)。

追加する待ち行列	[CV_lp]
リモートサーバのホスト名	[CV]
リモートサーバ上の待ち行列名	[lp]
リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ	[BSD]
リモートサーバ上のプリンタ名記述	[任意のコメント]

「リモートサーバ上の待ち行列名」が論理プリンタになります。

❼ 印刷します。

```
# lp -d CV_lp〈ファイル名〉
```

❽ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel CV_lp-〈ジョブ番号〉
```

❾ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p CV_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

FTPプロトコルを利用します

TCP/IPのFTPプロトコル(ftpコマンド)を使用して印刷する方法を説明します。ftpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

FTPについて

FTP(File Transfer Protocol)はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタの論理ディレクトリはlpです。

論理プリンタ	機　能
/lp	PCL形式のファイルを印刷する場合

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　: SPEEDIA V1500
IPアドレス　　　　　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNETを使用します。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ arpコマンドでプリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(133ページ参照)

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNETでプリンタにログインします。

「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」(初期値)です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard FastEther8100e Ver 01.09 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message          Value   (level.1)
---------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup NetBEUI
  5 : Setup printer trap
  6 : Setup SMTP(E-Mail)
  7 : Maintenance
  8 : Display status
  9 : IP Filtering Setup
```

```
 97 : Network Reset
 98 : Set default(Network)
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enterキー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message        Value    (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol      : ENABLE
  2 : IP Address           : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask          : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway      : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol        : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol  : DISABLE
  7 : Auto IP Address      : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)     : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)     : 0.0.0.0
 10 : root Password        : "*******"
 11 : Auto Discovey Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ログアウトします。

❼新しい設定を有効にするために、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源をOFF/ONしてください。

電源の切り方は「電源を切ります」(セットアップ編 24ページ)をご覧ください。

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

```
#ftp CV  (または、ftp 192.168.0.2)
Connected to CV
220 EthernetBoard FastEther8100e Ver 01.09 FTP
Server
Name (CV:root):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」と、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」の2種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARYモード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例1)印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例2)印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quoteコマンドの「stat」を使って、クライアントのIPアドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。また、statの後に論理ディレクトリ(lp)を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

8 NetWareで使用する場合

NetWareのプリントシステム

ノベル社のNetware6J、NetWare5J、NetWare4.1JおよびNetWare3.12Jネットワーク環境を利用して印刷するために必要なNetWareサーバとプリンタの設定を行います。

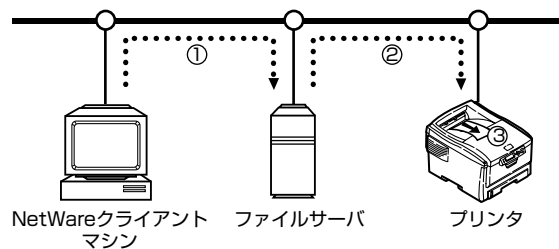
NetWareのネットワークにはNDSネットワークとバインダリネットワークがあります。プリンタのプリントシステムにはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。本プリンタで使用できる環境は次のとおりです。

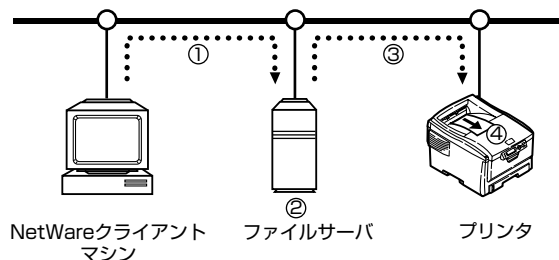
○：使用できます
×：使用できません

		プリンタ	
		プリントサーバモード	リモートプリンタモード
NDSネットワーク	NetWare3.12J		
	NetWare4.1J	○	○
	NetWare5J	○	○
	NetWare6J	○	○
バインダリネットワーク	NetWare3.12J	○	○
	NetWare4.1J	○	×
	NetWare5J	○	×
	NetWare6J	○	×

NetWare6J/5JのNDPS機能には対応していません。NetWare6J/5J付属のNovellプリントゲートウェイをお使いください。

プリントサーバモード（P-Server mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ(ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション)を必要としません。

リモートプリンタモード（R-Printer mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ(ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション)がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送し、④印刷処理を実行します。
通常のNetWareのプリント機能(PSERVER.NLM/EXE)を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

9 困ったときには

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お買い求めの販売店または
カシオテクノ・コールセンター(セットアップ編168ページ)へご連絡ください。

ttttttt ：トレイ
mmmmm ：用紙サイズ
pppppppp ：メディアタイプ

ステータス

プリンタの状態を示すメッセージです。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内 容
	ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	消灯	消灯	プリンタの初期化中です。 フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源をOFFしないでください。
	RAM ﾁｪｯｸﾁｭｳ ****************	消灯	消灯	RAMチェック中です。
	ｵﾝﾗｲﾝ ttttttt	点灯	不定	オンラインです。
	ｵﾌﾗｲﾝ ttttttt	消灯	不定	オフラインです。
	ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ ttttttt	不定	不定	データ受信中です。
	ｼｮﾘﾁｭｳ	点滅	不定	データ受信中または受信したデータを処理しています。
	ﾃﾞｰﾀ ｱﾘ ttttttt	不定	不定	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
	ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	不定	不定	印刷しています。
	ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	デモ印刷中です。
	ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	フォント印刷中です。
	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	メニューマップを印刷中です。
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	ファイルリスト印刷中です。

ステータス

コード nnn	操作パネル表示	オンライン ランプ	点検 ランプ	内 容
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	エラーログ印刷中です。
	ﾁｮｳｱｲ iii/jjj	不定	不定	丁合印刷をしています。iii は印刷中の部数、jjj は印刷する総部数を示します。
	ｺﾋﾟｰ kkkkk/lllll	不定	不定	コピー枚数が 2 部以上のとき、現在印刷しているコピー枚数を表示します。kkkkk は現在印刷の枚数、lllll は総印刷枚数を示します。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	点滅	不定	受信したデータをキャンセルしています。
	ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｼﾞｬﾑ)	点滅	不定	システム コウセイ メニューの「ジャム リカバー」が「オフ」に設定されているときにジャムが発生した場合、印刷ジョブの残りのデータをキャンセルしています。
	ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	不定	不定	ウォーミングアップ動作中です。
	ｵﾝﾄﾞ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	点灯	不定	長時間の連続印刷などでプリンタ内部温度が上昇したため、適切な温度になるまで印刷を一時停止しています。電源を切らずにこのままお待ちください。プリンタの故障ではありません。
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	不定	不定	省電力モード中です。
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	色ずれ調整中です。
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動濃度補正または自動階調補正中です。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	点灯	不定	ネットワークの設定を変更しています。
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｶｷｺﾐﾁｭｳ	点灯	点灯	ネットワークの設定を保存しています。

ワーニング

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、対処方法に従って対処してください。

コード nnn	操作パネル表示	オンライン ランプ	点検 ランプ	内 容
	Y ﾄﾅｰｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。イエローの新しいトナーセットを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。
	M ﾄﾅｰｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。マゼンタの新しいトナーセットを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。
	C ﾄﾅｰｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。シアンの新しいトナーセットを準備してください。このメッセージは、廃棄トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内 容
	K ﾄﾅｰｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	トナー残量が少なくなっています。ブラックの新しいトナーセットを準備してください。
	Y ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	イエローの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	M ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	C ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ. ﾄﾅｰｺｳｶﾝ	不定	点灯	シアンの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。このまま使い続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	ｵﾝﾗｲﾝSWｦｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	不定	点灯	無効データを受信しました。「オンライン」スイッチを押してください。
	Y ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	不定	ドラムセットの寿命が近づいています。イエローの新しいドラムセットを準備してください。
	M ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ドラムセットの寿命が近づいています。マゼンタの新しいドラムセットを準備してください。
	C ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ドラムセットの寿命が近づいています。シアンの新しいドラムセットを準備してください。
	K ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	ドラムセットの寿命が近づいています。ブラックの新しいドラムセットを準備してください。
	ﾃｲﾁｬｸｷ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	定着ユニットの寿命が近づいています。新しい定着ユニットを準備してください。
	ﾍﾞﾙﾄ ｺｳｶﾝ ｼﾞｭﾝﾋﾞ	不定	点灯	転写ベルトユニットの寿命が近づいています。新しい転写ベルトユニットを準備してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内 容
	ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	定着ユニットの交換時期です。定着ユニットを交換してください。
	ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	転写ベルトユニットの交換時期です。転写ベルトユニットを交換してください。
	Y ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	イエロートナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	M ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	マゼンタトナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	C ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	シアントナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	K ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	ブラックトナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けるとドラムセットの故障の原因になります。
	Y ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	イエロードラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
	M ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	マゼンタドラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
	C ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	シアンドラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
	K ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ブラックドラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
	tttttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	不定	点灯	tttttt トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
	ﾃﾞｨｽｸﾌｧｲﾙｼｽﾃﾑ ﾌﾙ	不定	点灯	ハードディスクにデータを書き込もうとしましたが、ハードディスクがいっぱいで書き込めません。
	ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐ ｷﾝｼ	不定	点灯	ハードディスクにデータを書き込もうとしましたが、書き込み許可が無いため書き込めません。
	ﾁｮｳｱｲ ｴﾗｰ	不定	消灯	丁合印刷のためのメモリが不足しています。指定された部数ではなく、1 部のみ印刷されます。「オンライン」スイッチ以外は無効です。「オンライン」スイッチを押して表示を消してください。
	ﾃﾞｨｽｸ ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ ｴﾗｰ			ハードディスクに不正なアクセスがありました。
	mmmmmmｦ MPﾄﾚｲﾆ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	点灯	消灯	手差し印刷を行います。表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、「オンライン」スイッチを押してください。

エラー

プリンタが停止するメッセージです。対処方法に従って対処してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内　容
300	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ 300 :ﾈｯﾄﾜｰｸ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ネットワークエラーが発生しました。プリンタの電源を OFF/ON してください。
310	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 310 :ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
311	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 311 :ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
316	ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ 316 :ﾘｱｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	両面印刷装置のカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
320	ﾃｲﾁｬｸｷｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 320 :ﾃｲﾁｬｸｷ ｴﾗｰ	消灯	点滅	定着ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。低温環境でプリンタの温度が 0 ℃以下の場合に、このメッセージが表示される場合があります。電源を切り、しばらく待ってからもう一度電源を入れてください。
330	ﾍﾞﾙﾄｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 330 :ﾍﾞﾙﾄ ｴﾗｰ	消灯	点滅	転写ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
340	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 340 : Y ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	イエロードラムセットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
341	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 341 : M ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	マゼンタドラムセットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
342	ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 342 : C ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	シアンドラムセットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
343	ﾍﾞﾙﾄｦ ﾛｯｸｼ、ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 343 : K ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	消灯	点滅	ベルトのロックが外れているか、ブラックドラムセットが正しく取り付けられていません。ベルトのロックを確認し、ブラックドラムセットを取り付け直してください。
350	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 350 : Y ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	イエロードラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
351	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 351 : M ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	マゼンタドラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。

目次へ 戻る 前へ 次へ 検索する

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
352	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 352：C ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	シアンドラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
353	ﾄﾞﾗﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 353：K ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ブラックドラムセットの寿命です。新しいドラムセットを入れてください。
354	ﾃｲﾁｬｸｷｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 354：ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	定着ユニットの交換時期です。定着ユニットを交換してください。
355	ﾍﾞﾙﾄｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 355：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	転写ベルトユニットの交換時期です。転写ベルトユニットを交換してください。
356	ﾍﾞﾙﾄｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 356：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	転写ベルトユニットの交換時期です。転写ベルトユニットを交換してください。
360	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ ﾕﾆｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 360：ﾘｮｳﾒﾝｲｻﾂ ﾕﾆｯﾄｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	消灯	点滅	両面印刷装置が正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
370	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 370：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷装置付近で紙づまりが発生しました。両面印刷装置カバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
371	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 371：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷装置付近で紙づまりが発生しました。両面印刷装置カバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。中央付近に用紙があります。
372	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 372：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷装置付近で紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。手前の方に用紙があります。
373	ﾘｱ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 373：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	両面印刷装置付近で紙づまりが発生しました。両面印刷装置カバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥の方に用紙があります。
380	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 380：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
381	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 381：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムセットの下に用紙があります。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
382	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 382：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着ユニット付近に用紙があります。
383	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 383：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着ユニットから両面印刷装置入口付近に用紙があります。
389	ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 389：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	場所を特定できない紙づまりが発生しました。トップカバーまたはフロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
390	ﾁｪｯｸ MPﾄﾚｲ 390：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	マルチパーパストレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
391	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 391：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	トレイ１からの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
392	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 392：ﾖｳｼ ｼﾞｬﾑ	消灯	点滅	トレイ２からの給紙中に紙づまりが発生しました。用紙カセットを抜き、つまった用紙を取り除いてください。用紙除去後、フロントカバーを開閉してください。
400	ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ 400：ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	消灯	点滅	用紙サイズが違っています。フロントカバーを開けて用紙を取り除き、正しいサイズの用紙を入れてください。
410	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 410：Y ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	イエロートナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けると、ドラムセットの故障の原因になります。
411	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 411：M ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	マゼンタトナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けると、ドラムセットの故障の原因になります。
412	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 412：C ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	シアントナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けると、ドラムセットの故障の原因になります。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝランプ	点検ランプ	内　容
413	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 413：K ﾄﾅｰ ﾅｼ	消灯	点滅	ブラックトナーがなくなりました。トナーセットを交換してください。そのまま印刷を続けると、ドラムセットの故障の原因になります。
414	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 414：Y ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	イエローの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
415	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 415：M ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
416	ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ 416：C ﾊｲｷﾄﾅｰ ﾌﾙ	消灯	点滅	シアンの廃棄トナーがいっぱいになりました。トナーを交換してください。
	Y ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	イエローの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定／実行」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
	M ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	マゼンタの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定／実行」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
	C ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾏｼﾀｶ? Y=ENTER/N=CANCEL	消灯	点滅	シアンの廃棄トナーがいっぱいになった状態で、トップカバーを開閉すると表示されます。トナーを交換した場合は「設定／実行」スイッチを、交換していなければ「キャンセル」スイッチを押してください。
420	ﾒﾓﾘｰｦ ﾂｲｶｼﾃｸﾀﾞｻｲ 420：ﾒﾓﾘｰｵｰﾊﾞﾌﾛｰ	消灯	点滅	メモリ不足です。「オンライン」スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリモジュールをお求めください。
430	ｶｾｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 430：ﾄﾚｲ1 ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ１のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
440	ｶｾｯﾄｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 440：ﾄﾚｲ1 ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１のカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
460	mmmmm/ppppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 460：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイの用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
	mmmmm/ppppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 460：MPﾄﾚｲ ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイの用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー] - [MP トレイ　ヨウシサイズ] を用紙サイズに合わせてください。
461	mmmmm/ppppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 461：ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１の用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
	mmmmm/ppppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 461：ﾄﾚｲ1 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ１の用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー] - [トレイ１　ヨウシサイズ] を用紙サイズに合わせてください。
462	mmmmm/ppppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 462：ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ２の用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
	mmmmm/ppppppppｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 462：ﾄﾚｲ2 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	消灯	点滅	トレイ２の用紙のサイズが違います。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。 プリンタの設定メニューで、[メディアメニュー] - [トレイ２　ヨウシサイズ] を用紙サイズに合わせてください。
490	mmmmmｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝ ｽｲｯﾁｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 490：MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	マルチパーパストレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内 容
491	mmmmmﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 491：ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ１に用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
492	mmmmmﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 492：ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	消灯	点滅	トレイ２に用紙がありません。またはトレイ２から印刷しようとしましたが、トレイ２のカセットが抜かれていて給紙できません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
540	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 540：Y ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。イエローのトナーセットが正しくセットされているか確認してください。
541	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 541：M ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。マゼンタのトナーセットが正しくセットされているか確認してください。
542	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 542：C ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。シアンのトナーセットが正しくセットされているか確認してください。
543	ﾁｪｯｸ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ 543：K ﾄﾅｰｾﾝｻｰｴﾗｰ	消灯	点滅	トナーセンサに異常が発生しています。ブラックのトナーセットが正しくセットされているか確認してください。

エラーコード540～543は、別売のトナーセットを使用した後にスタータトナーセット（本体購入時の付属品）を使用したときも表示されます。必ずスタータトナーセットが「トナー　ナシ」になってから別売のトナーセットをご使用ください。

サービスコールエラー

プリンタの異常を示すメッセージです。

ｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	ｵﾝﾗｲﾝ ランプ	点検 ランプ	内 容
	ﾌﾟﾘﾝﾀﾉ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ nnn: ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ nnn: ｴﾗｰ	消灯	点滅	プリンタに異常が発生しています。電源をOFF/ONしてください。復旧しない場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターへご連絡ください。 エラーコードが下記の場合は、次の処置も行ってください。
031				メモリチェックエラーです。メモリを取り付け直してください。オプションの増設メモリモジュールは純正品を使用してください。
181				オプションの両面印刷装置を取り付け直してください。
182				オプションの拡張ペーパフィーダセットを取り付け直してください。

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。	
電源コードが抜けています。	☞ 電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞ コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。	
エラーが表示されています。	☞ プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」（164ページ）をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞ プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞ プリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

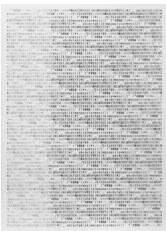
印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	☞ プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞ タイムアウトを長く設定してください。

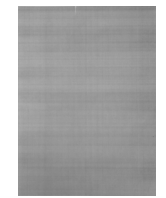
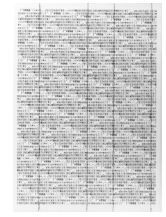
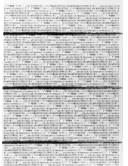
異常音がする。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞ プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞ トップカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞ プリンタのメニュー設定で、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
ドラムセットのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞ 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着ユニットの温度を調整しています。	☞ しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞ 印刷処理が中断するまでお待ちください。

用紙送りがおかしい

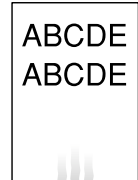
紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞ 一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞ 用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を1枚だけセットしています。	☞ 用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞ 用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞ 正しくセットしてください。
連量151～172kgの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを用紙カセットにセットできません。	☞ 連量151～172kgの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。詳しくは2章をご覧ください。

用紙が送られない。	
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	☞ マルチパーパストレイに用紙をセットして、「オンライン」スイッチを押してください。または「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞ トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。

定着ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞ より厚手の用紙を使用してください。
推奨紙以外のOHPシートを使用しています。	☞ 推奨紙を使用してください。推奨紙以外を使用すると種類によっては定着ユニットのローラに巻きつく可能性があります。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞ 用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーセットを交換してください。
	異物がつまっています。	☞ ドラムセットを交換してください。
	ドラムセットの遮光フィルムが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

縦方向にかすれる。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーセットを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。
	トナーが撹拌不足になっています。 	☞ かすれが発生した色のドラムセットをトナーセットが付いたまま取り出し、図のように逆さに持って水平に振り、中のトナーを撹拌してください。 ※ トナーカートリッジがしっかりロックされていることを確認してから振ってください。 ※ トナーがこぼれる場合がありますので紙などを下に敷いて振ってください。

印刷が薄い。		
	トナーセットが正しくセットされていません。	☞ トナーセットを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーセットを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。		
	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	［セッティング］の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［フツウシ ブラック セッティング］または［フツウシ カラー セッティング］の値を変更してみてください。 OHPシートに印刷している場合は、［OHP ブラック セッティング］または［OHP カラー セッティング］の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。		
	ドラムセットに傷がついています。	☞ ドラムセットを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーセットを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。

原因	対処
約94mm周期の場合は、ドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、ドラムセットを交換してください。
約42mm周期の場合は、ドラムセット内にゴミが混入しています。	☞ トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
約87mm周期の場合は、定着ユニットに傷がついています。	☞ 定着ユニットを交換してください。
ドラムセットが光にさらされました。	☞ ドラムセットをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、ドラムセットを交換してください。

白地の部分が薄く汚れる。

原因	対処
用紙が静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
厚い用紙を使用しています。	☞ より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーセットを交換してください。

文字の周辺がにじむ。

原因	対処
LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。

原因	対処
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。コート紙はなるべく使用しないでください。

部分的に汚れる。（特に両面印刷の後端部分）

原因	対処
プリンタ内部が汚れています。	☞ シアンドラムのフレームと定着ユニット手前の金属シャフトを清掃してください。詳しくは「プリンタ内部を清掃します」（セットアップ編154ページ）をご覧ください。

擦るとトナーがとれる。

原因	対処
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。

光沢にムラが出る。

原因	対処
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。

思った色合いで印刷されない。

原因	対処
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーセットを交換してください。
［黒の生成］の設定がアプリケーションに合っていません。	☞ プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYKトナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更したい」（95ページ）をご覧ください。
カラー調整を変更しています。	☞ プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「カラーマッチングしたい（ASICカラーマッチング）」（81ページ）をご覧ください。
カラーバランスがとれていません。	☞ プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞ トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をします」（セットアップ編152ページ）、「色ずれ補正を微調整したい」（100ページ）をご覧ください。

CMY各色100%のベタが薄い。

原因	対処
［CMY100% ノウド］が［ムコウ］になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［カラーメニュー］-［CMY100% ノウド］を［ユウコウ］にしてください。

印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない。	
プリンタの電源がOFFになっています。	☞ プリンタの電源をONにしてください。（セットアップ編 24ページ）
［オフライン］になっています。	☞ 「オンライン」を押して［オンライン］にしてください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］または［USB］を［ユウコウ］にしてください。（セットアップ編 46ページ）
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USBハブを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞ 処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞ ［通常使うプリンタ］にしてください。
双方向パラレルまたはUSBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞ 他のプリンタドライバを削除してみてください。
I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていません。	☞ プリンタのメニュー設定で［I-PRIME］を［3u SEC］または［5u SEC］にしてください。
LCD表示が「オンラインSWヲ　オシテクダサイ／ムコウデータ」と表示され印刷しません。	☞ プリンタのメニュー設定で「タイムアウト　インサツ」の設定値を長くしてみてください。
USB接続でプリンタアイコンが［オフライン］になっています。	☞ プリンタアイコンを右クリックして［プリンタをオフラインにする］のチェックを外してください。

メモリ不足になる。	
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞ 使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。	
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞ 処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷オプション］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。
パラレルインタフェースで接続しています。	☞ コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードに変更してみてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ 「ネットワーク経由で印刷できない」（176ページ）をご覧ください。

ネットワーク経由で印刷できない

UNIX

- 「etc/hostsファイル」にプリンタの[IPアドレス]と[ホスト名]が登録されているか確認します。
- lpプロトコルを利用する場合は、「etc/printcapファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名(例：rp=lp)が登録されているか確認します。論理プリンタは、無変換出力設定用の「lp」だけです。それ以外は全て無効です。
- ftpプロトコルを利用する場合は、出力先(イーサネットボードの論理ディレクトリ名)が指定されているか確認します。出力先は、無変換出力設定用の「lp」だけです。それ以外は全て無効です。

NetWare

◆プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(133ページ)の「File Server#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(133ページ)の「Printer Name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(133ページ)の「Print Server Name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- イーサネットボードが複数存在する場合はイーサネットボード同士の「Printer Name」が同じにならないようにします。

◆リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(133ページ)の「Print Server#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報(Network Information)(133ページ)の「Printer Name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- Webブラウザでプリンタを検出できるか確認します。(28ページ)
- TELNETでプリンタを検出できるか確認します。
- pingでプリンタを検出できるか確認します。Windowsのコマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」(xxx.xxx.xxx.xxxはプリンタのIPアドレス)と入力し、Enterキーを押します。

付　録

仕様

USBインタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ

プリンタ側　B レセプタクル(メス)アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社製)相当品
ケーブル側　B プラグ(オス)

ケーブル

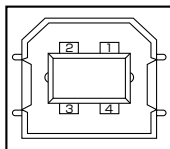
2m 以下の USB2.0 仕様のケーブル
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード(最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード(最大 480Mbps ± 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

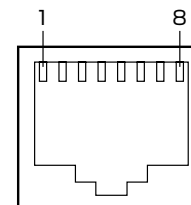
ネットワークプロトコル
　TCP/IP 関連
　NetWare 関連
　NetBEUI 関連

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　　能
1	TXD+	FROM	送信データ+
2	TXD-	PRINTER	送信データ-
3	RXD+	FROM	受信データ+
4	−	PRINTER	使用していません。
5	−	TO　PRINTER	使用していません。
6	RXD-	−	受信データ-
7	−	−	使用していません。
8	−	TO　PRINTER	使用していません。

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側	36 極レセプタクル(メス) 57RE-40360-830B-D29 型(第一電子工業製または相当品)
ケーブル側	36 極プラグ(オス) 57FE-30360 型(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

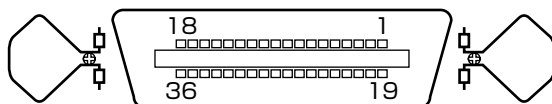
1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

コンパチブル
ニブル
ECP

インタフェースレベル

ローレベル	＋0.0～＋0.8V
ハイレベル	＋2.4～＋5.0V

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	–	–	使用していません。
16	GND	–	信号グランド
17	FG	–	シャーシグランド
18	+5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19~30	GND	–	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	–	信号グランド
34	–	–	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

フォントサンプル

日本語4書体

平成明朝 株式会社	平成角ゴシック 株式会社
P平成明朝 株式会社	P平成角ゴシック 株式会社

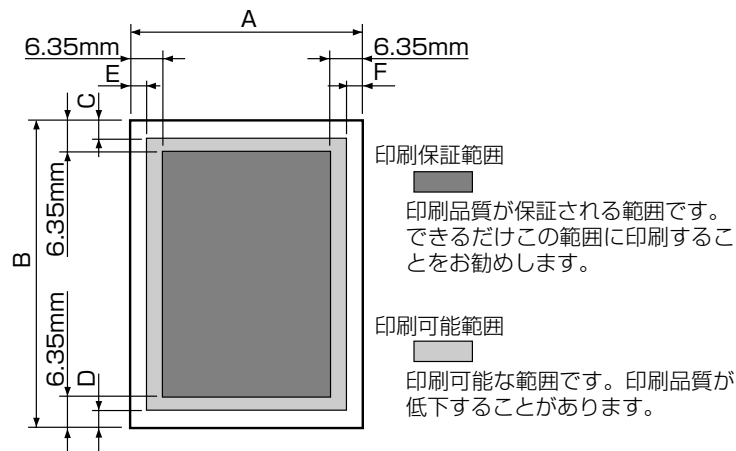
欧文80書体

Scalable Font（80書体）

No.	
000	Courier
001	Courier Bold
002	Courier Italic
003	Courier Bold Italic
004	CG Times
005	CG Times Bold
006	CG Times Italic
007	CG Times Bold Italic
008	CG Omega
009	CG Omega Bold
010	CG Omega Italic
011	CG Omega Bold Italic
012	Coronet
013	Clarendon Condensed
014	Univers Medium
015	Univers Bold
016	Univers Medium Italic
017	Univers Bold Italic
018	Univers Medium Condensed
019	Univers Bold Condensed
020	Univers Medium Condensed Italic
021	Univers Bold Condensed Italic
022	Antique Olive
023	Antique Olive Bold
024	Antique Olive Italic
025	Garamond Antique
026	Garamond Halbfett
027	Garamond Kursiv
028	Garamond Kursiv Halbfett
029	Marigold
030	Albertus Medium
031	Albertus Extra Bold
032	Letter Gothic
033	Letter Gothic Bold
034	Letter Gothic Italic
035	Arial
036	Arial Bold
037	Arial Italic
038	Arial Bold Italic
039	Times New
040	Times New Bold
041	Times New Italic
042	Times New Bold Italic
043	ITC Avant Garde Gothic Book
044	ITC Avant Garde Gothic Demi
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
047	ITC Bookman Light
048	ITC Bookman Demi
049	ITC Bookman Light Italic
050	ITC Bookman Demi Italic
051	CourierPS
052	CourierPS Bold
053	CourierPS Oblique
054	CourierPS Bold Oblique
055	Helvetica
056	Helvetica Bold
057	Helvetica Oblique
058	Helvetica Bold Oblique
059	Helvetica Narrow
060	Helvetica Narrow Bold
061	Helvetica Narrow Oblique
062	Helvetica Narrow Bold Oblique
063	New Century Schoolbook Roman
064	New Century Schoolbook Bold
065	New Century Schoolbook Italic
066	New Century Schoolbook Bold Italic
067	Palatino Roman
068	Palatino Bold
069	Palatino Italic
070	Palatino Bold Italic
071	Times Roman
072	Times Bold
073	Times Italic
074	Times Bold Italic
075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
076	Symbol
077	SymbolPS
078	Wingdings ✌✍✋✌☜✐♑♒♓er📁🗎🗐🗎
079	ITC Zapf Dingbats ✡✢✣✤✥✦✧✩✪✫✬✭✮✯➾➽✓✔✕

印刷範囲と印刷精度

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

・印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)です。
・両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mmです。

単位：mm

用紙サイズ	幅 A	長さ B	上余白 C	下余白 D	左余白 E	右余白 F
A4	210	297	5.08	5.08	5.08	5.08
A5	148	210	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5インチ）	215.9	342.9	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	100～215.9	148～1,200	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒4（A4サイズ）	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Intl
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⏐
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、プリンタをお買い求めの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
トナーセット　ブラック	V15-TSK	トナーセット LEDレンズクリーナ
トナーセット　イエロー	V15-TSY	
トナーセット　マゼンタ	V15-TSM	
トナーセット　シアン	V15-TSC	
ドラムセット　ブラック	V15-DSK	ドラムセット トナーセット LEDレンズクリーナ
ドラムセット　イエロー	V15-DSY	
ドラムセット　マゼンタ	V15-DSM	
ドラムセット　シアン	V15-DSC	
転写ベルトユニット	V15-BLT	転写ベルトユニット
定着ユニット	V15-FUS	定着ユニット
増設メモリモジュール	V15-SDR64M	増設メモリモジュール（64MB）
ハードディスク	V15-HDD	ハードディスク（10GB）
拡張ペーパフィーダセット	V15-CPF	拡張ペーパフィーダセット
両面印刷装置	V15-RIS	両面印刷装置

- 消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、カシオ計算機純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーセット、ドラムセットは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0〜35°C、湿度：20〜85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

カシオ計算機株式会社
国内営業統轄部　システム企画部　MSP企画室

〒151-8543 東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4638

西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-864-3025
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
カスタマーコンタクトセンター	ナビダイヤル 0570-066044
インターネット・ホームページ	http://casio.jp/

＊本書は再生紙を使用しています。

SPEEDIA V1500

ユーザーズマニュアル（応用編）

2006年6月23日　第3版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

目次へ 戻る 前へ 検索する

CASIO®

SPEEDIA V1500

ユーザーズマニュアル〈応用編〉

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

T-846PB
MA0606-C